

宇出津病院の礎を築いた

なかえとしろう 中榮敏郎院長

(平成5年11月10日没・享年82)



執刀する中榮院長(写真右)

中 榮敏郎医師は、金沢大学医学部第二

外科出身。大学時代は教授の信頼が厚い優秀な外科医だったという。上町の開業医であった父親の跡を継いで開業し、昭和27年9月から昭和46年6月まで宇出津病院の院長を務めた。厳しい人格で、時には若い医師や看護師を怒鳴りつけることもあったが、常に患者を大切にしてきた。

医師のすごさは医師にしか分からない。中榮医師と共に勤務した経験を持ち、後に金沢医科大学呼吸器内科教授となった大谷信夫医師は「先生の臨床家としての見識は、大学では経験できないほど幅広く、深いものであった。わたしの臨床医としての原点は、中榮先生との巡り合いなしには考えられない。この貴重な経験を若い医師にも伝えていきたい」と言い切る。



広報のと 第46号

平成20年12月1日発行

■発行・能登町 ■編集・広報情報推進課
〒927-1049
石川県鳳珠郡能登町宇出津新1字197番地1

☎0768-62-10000(代)
能登町URL: <http://www.town.noto.shikawa.jp>
Eメール: info@town.noto.lg.jp

広報のと
No. 46
2008.12



今年を笑い飛ばす。

12
平成20年

11月7日に行われた石川県指定無形民俗文化財「鶴川のイドリ祭り」は、当番が作ったもちをイドリ(けなすの意味)合う奇祭。稲作の象徴であるもちをけなし、笑い飛ばすことで翌年の勤労を誓い、豊作を祈願する。

全国の自治体病院で『医師不足』を原因とした縮小や閉鎖などが相次いでいる。

これまで地域の医療を支え、命を守ってきた公立宇出津総合病院の状況はどうなのか。知らない、関係ないでは済まされない。

地域医療は自分たちの健康、生命にかかわる大切な問題なのだから。

◎特集

生命の砦

いのち

とりで

— 地域医療を守る —

地域医療の危機

崩壊する自治体病院

自治体病院の崩壊が連日のようにテレビや新聞で報道されている。平成18年に財政破たんした北海道夕張市の夕張市立総合病院は、当時39億円の※1一時借入金を抱え、病院自体も倒産状態だった。171床の総合病院は※2公設民営の運営となり、19床の有床診療所と40床の老人保健施設になった。

経営破たんの要因には①医師不足による診療科の崩壊②看護師不足③人口の減少や立地条件④職員の危機意識などが挙げられる。しかしこれらは夕張市だけの問題ではなく、同じような課題を全国のほとんどの自治体病院が抱えている。

夕張以外にも今年9月30日に診療を休止した千葉県銚子市の銚子市立総合病院（390床）は医師の激減により急激に経営が悪化。入院患者は転院、職員は再就職を余儀なくされた。

銚子市立病院は1年間で13人の医師が次々に退職。医師確保に奔走してきた病院長も「懸命に努力し頑張ってきたが、精神的にも疲れ、燃え尽きた」という理由で、任期を残して退職届を提出したという。

医師不足の原因

なぜ医師不足が叫ばれているのか。最大の原因は平成16年度から始まった※3新臨床研修制度の導入。この制度によって今まで自治体病院に医師を派遣していた大学病院でも医師が激減し、医師の引き揚げが行われた。自治体病院に医師の補充はなく、残った医師の負担は増え、結果退職していくという事態が生じた。医師が自治体病院から退職していく原因はほかに、激務である仕事（長い労働時間、低い報酬）、患者側の問題（コンビニ受診、医療訴訟の増大）や行政・住民との溝などさまざまな理由が考えられる。

能登北部医療圏（人口 81,568 人）
（輪島市、珠洲市、穴水町、能登町）
医師数：111 人
薬剤師数：104 人
看護職員数：812 人

能登中部医療圏（人口 142,463 人）
（七尾市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町）
医師数：243 人
薬剤師数：201 人
看護職員数：1,853 人

南加賀医療圏（人口 237,068 人）
（小松市、加賀市、能美市、川北町）
医師数：382 人
薬剤師数：335 人
看護職員数：2,782 人

石川中央医療圏（人口 710,692 人）
（金沢市、かほく市、白山市、野々市町、津幡町、内灘町）
医師数：2,244 人
薬剤師数：1,844 人
看護職員数：9,392 人

データは石川県医療計画より抜粋

能登北部医療圏の4自治体病院の医師数

病 院 名	常勤医師数			へき地医療拠点病院
	平成 15 年度	平成 20 年度	差引	
市立輪島病院	17 人	14 人	△ 3 人	○
珠洲市総合病院	17 人	14 人	△ 3 人	○
公立宇出津総合病院	14 人	12 人	△ 2 人	
公立穴水総合病院	15 人	12 人	△ 3 人	○
計	63 人	52 人	△ 11 人	

減少する能登北部の医師

石川県は2次医療圏（医療を提供する地域的単位）として①能登北部②能登中部③石川中央④南加賀—の4つを設定している。平成18年度末の医師数は2980人で人口10万人当たりでは全国11位という高水準。しかしその75%が石川中央に集中し、能登北部には111人（3・7%）の医師しかいない。石川県医療計画（平成20年4月策定）では、能登北部の医師の配置について「安定的、継続的な確保は大変困難な状況（中略）医療機関相互の機能分担と連携を一層進める必要がある」と掲げている。

【用語解説】

※1 一時借入金：予算内の支出をするために一時的に借り入れるもの
※2 公設民営：行政（自治体）が施設を設置し、運営を民間に委託する形式
※3 新臨床研修制度：新人医師が専門分野に進む前に、初期診療など臨床医としての基本を身につけるために2年間研修する制度。研修先となる病院は新人医師が選び、病院側の希望とつき合わせる「マッチング方式」で決定される



【用語解説②】

※**2 繰出基準**・・・地方公営企業の経費の性質上、一般会計で負担すべき経費を算定するための基準。
 ※**3 病床利用率**・・・入院ベッドの利用状況を表す数値で、入院患者延数÷許可病床延数×100で算出する。
 ※**4 看護基準**・・・入院患者に対する看護師数を表すもの。10対1は入院患者10人に対して1人の看護師が実際に受け持っている状況。

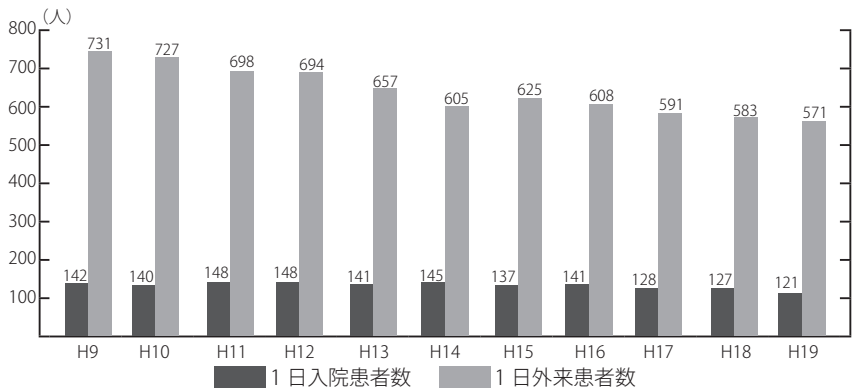


図2 公立宇出津総合病院の入院・外来患者数

求められる病院改革

平成19年12月24日、総務省は「公立病院改革ガイドライン」を公表し、各自治体に通知した。自治体病院の破たんは地域医療の崩壊を意味する。自治体病院の厳しい状況を改革し、地域医療の崩壊を事前に防ぐための措置だ。

このガイドラインに沿って、地方公共団体は平成20年度内の病院改革プラン策定を求められた。ガイドラインでは、この改革を機にあらためて公立病院としての役割を見直し明確化することと、一般会計との経費負担の基準（※2繰出基準）を設定することを掲げた。そしてさらに①経営の効率化②再編・ネットワーク化③経営形態の見直し―の3つの視点で改革を推進するよう求めている。

具体的な改革内容を協議

宇出津病院は今年8月、関係機関代表や有識者8人で構成する改革プラン策定委員会を組織。策定委員会では現状の問題を洗い出し、問題点を①収入増

過疎地である奥能登で、救急医療や高度医療など地域に必要な医療を担ってきた公立宇出津総合病院（以下宇出津病院）は、ほかの多くの自治体病院と同様に赤字経営を余儀なくされている。そこに襲いかかる医師不足、看護師不足という波。今後も安定的・持続的に医療を提供していくために必要なことは何か、その現状を探る。

赤字を抱える自治体病院

全国約1000の公立病院のうち7割以上が赤字経営で、特に自治体病院の赤字割合が高い。自治体病院は、これまで過疎地やへき地などの民間医療機関の立地が困難な地域での医療の提供、救急・小児・周産期などの不採算部門の医療の提供など重要な役割を担ってきた。

宇出津病院も同様に、地域医

表1 医師数・看護師数の状況

	H13	H16	H20見込
常勤医師数	17	14	12
非常勤常勤換算	3.4	3.5	3.0
医師数合計	20.4	17.5	15.0
医師必要数	23.0	22.2	19.7
医師不足数	2.6	4.7	4.7
看護師	57	58	59
准看護師	40	39	32
看護師数合計	97	97	91

※医師必要数は患者数から計算する医療法上の標準医師数。看護師は今後10年間で約半数が定年退職を迎える。

療の中核としての役割を果たしてきたが、その経営は慢性的な赤字が続いている。

図1は、本業である医療でのもうけを表す医療収益、医療にかかる経費である医療費用とその比率をグラフ化したもの。医療収支比率を見ると、年度内に4人の医師が退職した平成13年から比率が下がり、近年は95%前後で推移している。

図2は、一日当たりの外来患者数と入院患者数の推移。グラフを見ると、外来患者数は過去11年間右肩下がりで減少し、入院患者は近年減少傾向にある。これは医師や看護師の減少も影響している（表1）。

医師や看護師の数は、直接病院の収益に影響を及ぼす。しかし患者数が減り、※1診療報酬のマイナス改定が続いていることを考えると、現場の頑張りによつて収支の悪化が食い止められているという状況が分かる。

INTERVIEW

公立病院として不採算部門を担う必要もある



公立宇出津総合病院
やまもり けいじ
山森 景治 事務局長

この地域に不足している医療は、公立病院である宇出津病院が補う必要があります。しかし、医師・看護師不足の中で、不採算部門を担いながら経営を改善するには限界があります。現在は県、能登北部の公立病院、大学病院などが集まり、今後の能登北部の医療をどうするかという話し合いも進められています。

奥能登の人口は減っていますが高齢者は増えていますので、今後も適正な病床数を維持しながら地域医療を守りたいと考えています。

INTERVIEW

地域に根ざした看護ができる病院として



公立宇出津総合病院
わじま ゆうこ
輪島 裕子 主任看護師

今年5月から※4看護基準が13対1から10対1になりました。しかし看護師の数に余裕があるわけではなく、みんなでカバーしあっているという状況です。

宇出津病院は地域に根ざした看護を目指していますが、かゆいところに手が届くような看護をするためには、数が必要です。地元から出ている看護師が宇出津病院で働きたいと思うような教育体制や職場としての魅力を高めていきたいと思っています。

地域医療の原点

地域医療の中核として、住民の健康、生命を守り続けてきた宇出津病院。奥能登唯一の施設や高度医療機器をいち早くそろえ、地域格差、医療格差を解消しながら住民本位の医療を提供してきた。その歴史を振り返る。

礎を築いた中榮敏郎院長

公立病院としての宇出津病院の起源は昭和27年6月にさかのぼる。当時の鳳至郡東部八力町村が共同で、県厚生農業協同組合連合会の病院を買い受けて宇出津地区総合病院組合立宇出津病院が発足。診療科6科、病床数90床の木造の建物だった。

27年4月から病院事務職として就職していた太島慶子さんは「職員は全部で40人くらい。気心の知れた仲間同士で、病院も活気がありました」と発足した当時を振り返る。

27年9月、地元上町出身の外科医、中榮敏郎医師が院長として招聘された。中榮院長は退職する46年6月までの約20年間、医師不足のときには外科のほか

に内科や産婦人科まで自分で診療して、宇出津病院を守り、地域医療を支えてきた。

43年から内科の非常勤医師として宇出津病院に勤務した大谷信夫医師は、中榮院長について「医療の仕事に熱心で、厳しいが心は温かい人だった。臨床に強く、教えられることがたくさんあった」と語る。

31年には、看護師を補うために奥能登唯一の准看護学院を開設、地元の学校の先生や病院の医師・看護師が講師となって准看護師を養成した。

地域格差の是正を目指す

41年8月、木造建物の老朽化、施設の旧式化から改築工事に着手し、鉄筋コンクリート造り3階建ての病院が43年5月に完成

か治療が受けられないといった地域格差の解消を目指した。

外科系病院として確立

平成3年4月、MRIやCTなど、最新の医療機器を備えた新病院の改築が完了する。

小森和俊院長（元年7月〜現在）は「奥能登でもこれだけの高度医療ができるというものを目指した」と語る。そして外科医である小森院長を中心に外科系病院としての地位を確立していった。



1



2

1 宇出津病院准看護学院戴帽式（昭和43年）昭和31年4月から昭和48年3月まで、毎年奥能登各地から希望者が入学し、100人以上の「白衣の天使」を送り出した。

2 昭和43年5月に改築が完成した宇出津病院 当時奥能登唯一の神経科・精神科を新設。昭和53年7月から総合病院となった。

3 昭和28年ころの宇出津病院 昭和27年6月、診療科6、病床数90床で発足した木造の病院。

4 平成3年4月に完成した現在の公立宇出津総合病院 病院前に建立された石碑には、益谷健大元能都町長の筆跡で「敬事而信（事を敬して信あり）」と刻まれている。



3

した。

新病院の特徴の一つは、奥能登唯一の神経科・精神科の開設。当時奥能登には全国水準を上回る患者がいるとされ、珠洲市や輪島市からも多くの患者が治療に訪れた。

45年5月には、肝臓病の権威であった金沢大学第一内科医局長の若月寿之助医師を副院長として招聘。46年9月に病院長となつてからは、奥能登で初めての人工透析設備を導入するなど最新の医療機器を次々に整備し、今まで七尾市や金沢市でし



4

INTERVIEW

元金沢医科大学教授
おおやのぶお
大谷 信夫 医師（金沢市）



中榮院長が築いた伝統を受け継いでほしい。

中榮院長は臨床医として本当に立派な医師でした。宇出津病院を一人で支えた時期もあって、それを支えたものは先生の熱意と努力、そして地域住民のサポートという地域一体感だったと思います。地域医療のあり方が叫ばれている最近、中榮先生の足跡を改めて顕彰することは大変意義深いことと感じます。

INTERVIEW

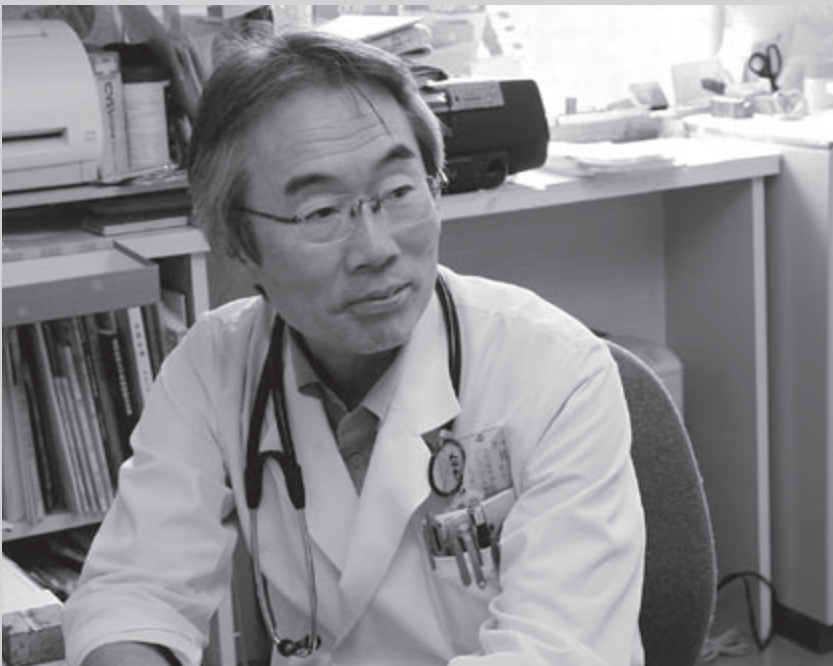
地元には病院があることは本当にありがたい。

昭和27年から30年あまり、薬局事務員として勤務しました。開設当時、医師確保のために数馬角四事務長（のちの能都町長）が毎週のように金沢大学病院の医局に通っていたことが忘れられません。地元には病院があることは年寄りにとって本当にありがたいこと。絶対に病院がなくならないよう願っています。

開設当初から薬局事務として勤務
たじまけいこ
太島 慶子 さん（崎山）



INTERVIEW Dr.Masuya



●石川県医師会の理事を務める 升谷一宏 医師（松波）

【ますや・かずひろ】升谷医院院長。金沢大学医学部を卒業し、付属病院第二内科に入局。昭和50年4月に金沢医科大学循環器内科へ。昭和57年3月、父親の跡を継いで升谷医院院長となる。松波小中学校の学校医、松波保育園の園医や町内企業の産業医も務める。

12年間過ごした大学病院時代は、循環器内科を専門としていました。医師としては一面偏った部分もあり、開業当初は

患者さんの声を聞く

わたしの父親は開業医で、ほかの診療所が閉鎖されてからは、松波唯一の診療所として、地域の医療を担っていました。父親は昔から心臓を患い、入退院を繰り返して昭和57年3月に亡くなりましたが、この時、当時の内浦町長や町幹部の方がわたしの勤務していた金沢医科大学に何度も訪ねて来られ、その真摯に地域を思う熱意に打たれて古里での開業を決意しました。その後1年間は、大学に籍を置きながら医院と大学を往復するという日が続きました。

父の跡を継ぎ開業医へ

かかりつけ医と病院の連携が 地域医療を守ることにつながる。

地域医療の最前線の医師としてやっていけるかどうか多少の不安もありましたが「明るく、誠実に、積極的に」を医院モットーに掲げ、患者さんの声を聞くことを大切に一步一步やってきました。

開業医にとって最も重要な地域の方々との信頼関係も構築できたと思っています。

地域における病診連携

地域医療には地方も都会も関係ありません。わたしたち開業医が最前線で診察し、対応できないときには地元の総合病院やさらに大きな病院を紹介するという連携が大切です。

松波は珠洲とのつながりが強い地域ですが、患者さんの希望を聞いて、宇出津病院にも多くの患者さんを紹介しています。現在、病院を再編・統合するというような流れもあります

が、高齢化が進む奥能登では通院などのことも考えると現在存在する4つの総合病院が、診療の質・機能を落とすことなく維持できないかと考えています。

かかりつけ医として

わたしたち開業医は、患者さんの価値観や人生観を踏まえて、患者さんに満足していただけるような治療の流れをうまくつくるスタート地点に立っているともいえます。

患者さんの性格や家族構成なども理解し、いろいろな相談を受けながら病気になったときにどうすればよいかを考えられる医師が、かかりつけ医です。いきなり大きな病院で診てもらおうということは、地域医療の崩壊を招くことにつながりかねませんし、患者さん自身のためにもならないのだと思います。

医師不足、医師偏在の影響を大きく受けている地方のかかりつけ医として、地元の方々に満足していただくために、これからも地域医療の最前線に立ち続けていきたいと思っています。

INTERVIEW Dr.Naoi



●半世紀、地域の医療を見続けた 直井長朗 医師（宇出津）

【なおい・ながお】直井医院院長。金沢大学医学部卒業後、昭和30年に宇出津病院に副院長（内科医長）として赴任。昭和36年、直井医院を開業する。能都北辰高校・鶴川小中学校の学校医、しらさぎ・神野保育所の園医、町内企業や団体の産業医なども務める。

懐かしい思い出

わたしは昭和30年から5年間、宇出津病院の副院長・内科医長として勤務しました。宇出津病院は当時から地域医療の中核としてたくさんの方が利用していました。当時は和気あいあいな雰囲気、病院で野球チームをつくって地域のチームと対戦したり、商工会が主催する「ミナス宇出津コンテスト」に病院代表で出場した看護師をみんなまで応援したことが思い出されます。病院の桜の木も吉野桜を現地から取り寄せて、わたしたちが植樹しました。

その後、当時の町長さんや患者さんの後押しで開業することになりました。

医師が抱えるジレンマ

それからは、たくさんのかかりつけ医に徹して、自分なりに地域医療を支えてきたと思っています。医師は生涯勉強しなければいけません。講演会に出たり、文献を読んだりして自分の知識を高め、それを患者

開業医の 視点

公立宇出津総合病院と共に、地域医療を担う開業医。住民のかかりつけ医として、学校医や産業医として、地域にとって欠かすことのできない存在だ。今回、二人の開業医に地域医療に対する思いや課題を聞いた。

地域医療のためには、開業医が病院、行政と連携していくことが大切。

さんに返すことが大切ですが、地方にいるとなかなか講演会や勉強会に参加できません。そこに大きなジレンマを感じていましたし、悔しい思いをしてきました。

医師が地方に来たがらない理由の一つが、自分、そして子どもとの教育という問題もあるのだと思います。

病院、行政との連携が大切

今後、この地域の医療で最も大切なことは病院、行政との連絡・連携を密にすることだと思います。わたしたち開業医が軽

い病気を診て、入院が必要ならば宇出津病院を紹介します。しかし病院が充実していなければ七尾や金沢の病院に患者を紹介しなければなりません。地域医療のためには、まず宇出津病院の充実が不可欠です。

そして学校医や園医、健診・予防注射などで行政との連携を強くし、地域に対して協力していくことも重要です。

地域医療には患者さんの趣味や習慣、生活全体を知るかかりつけ医は絶対に必要です。これからは患者さんのために勉強して自分を高め、地域医療に貢献していきたいと思っています。

地域医療の先進地

岩手県藤沢町の国保藤沢町民病院（管理者・佐藤元美院長）は、地域医療の先進地として注目されている。開設して以来15年、常に黒字経営を続け、平成18年には全国優良自治体病院として最高の栄誉である総務大臣表彰も受賞した。藤沢町民病院が目指す地域医療と藤沢方式と呼ばれるその取り組みを紹介する。



医療過疎に泣いた町

かつて藤沢町には、ベッド数30床の県立藤沢病院があった。昭和26年に開院し、地域医療の拠点として住民の健康と生命を守り続けたが、医師の都会志向が深刻な医師不足を招き、昭和43年3月に廃止、医師一人の藤沢診療所が開所した。昭和57年、藤沢町はやがて訪れる高齢化社会への対応として、保健・医療・福祉の一元化体制づくりを進める。町福祉医療センターを設置し、保健師が町内全世帯を訪問、看護師が療養中のお年寄りを一軒一軒回ったが、医師の確保は困難を極め、土台となる医療の充実を図ることはできなかった。

藤沢町民は病気の苦しみに加え、時間的にも経済的にも大きな負担を抱えながら、町外の医療機関を訪ね歩いてきた。昭和63年度に藤沢町で亡くなった町民は約100人。このうち70人以上が町外の医療機関や施設で亡くなった。

「情けない。生まれた町で死ぬこともできないなんて」。佐藤守町長（当時）は、こ

の現実にかくぜんとした。「病気になるっても安心して住めるような町でなければ、本当の古里とはいえない」。

佐藤町長は、政治生命をかけて町立病院建設を決意した。

執念の病院建設

しかし、近隣自治体には県立病院があり、県内の自治体病院は軒並み赤字経営という状況の中で、何度足を運んでも県の理解は得られなかった。

「万が一赤字になっても町の最優先課題として絶対に支えてみせる」という佐藤町長の誠意と情熱。「病院建設を町の最優先課題とする」という議会の強い意志は「病院建設運動」として町を挙げての運動となり、少しずつ県側の心を動かした。

加速する運動とは裏腹に、医師の確保は困難を極め、県内外の病院や大学に訪問しては門前払いが繰り返された。

平成3年、佐藤町長は全国各地で地域医療の充実に貢献している自治医科大学を訪ねた。自治医大は藤沢町の考えに賛意を示し、各地で活躍する卒業生の名簿を見せてくれた。



寸劇を交えて意見交換する場「地域ナイトスクール」

総合病院的部分を併せ持つ理想の病院づくりを進めている。

さらに外来診療のほかに訪問医療、訪問看護、訪問リハビリなど在宅サービスにも力を入れた。佐藤元美院長は「病床数54床は決して大きくないが、訪問医療を加えたベッド数は三千以上。全国屈指の規模になる」と町内全世帯を病床ととらえ「出前医療」を展開している。

藤沢町の特徴は地域包括ケアを担う施設群。藤沢町民病院を司令塔として、保健センター、居宅介護支援事業所、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、認知症高齢

INTERVIEW

健康寿命を延ばし、元気な長寿社会の実現を目指す



藤沢町民病院管理者

佐藤元美 院長

長命と長寿は違います。生物学的な延命を長命と呼ぶのに対し、生きがいや喜びを見つけ、質の高い人生を送ることを長寿といいます。

年をとっても、人の手を借りずに生活できることを「健康寿命」といいますが、この健康寿命を延ばすことが地域医療の究極の目的です。従来の「病気を治す医療」に加え、「病気を予防する医療」を実践し、元気な人を増やして長寿社会を実現することがわたしたちの使命だと考えています。

そのためには「病気を診る医療」から「暮らしを見る医療」への転換が重要です。一人ひとりの生活に目を向けなければ、一時的に病気は治せても病気を絶ったり、減らすことはできないのですから。

自前医療と出前医療

藤沢町民病院は開設後、少子高齢化に対応できる保健・医療・福祉の一元化サービスの強化に総力を挙げて挑んだ。その柱が「自前医療」と「出前医療」。

自前医療は初期医療から高次医療まで、あらゆる需要に対応できる医療で、家庭医的部分と

住民の声を医療に生かす

「健全な病院運営には住民参加は不可欠」と考える佐藤院長は、安定した医療体制づくりのために地域や住民との信頼関係を築くことを大切にしてきた。

者グループホームなどの施設が隣接し「健康を守る保健」「命を守る医療」「暮らしを守る福祉」を一体的に運用している。

平成7年にスタートした「地域ナイトスクール」は町民に情報を公開し、病院と町民が情報を共有する場。関心の高いテーマを寸劇などで解説するほか、保健・医療・福祉のスタッフが町民とひざを交えて語り合う。「スクールを始めてから病院に対するクレームが減り、住民との温度差もなくなったような気がします」と佐藤院長は話す。

住民の目線で医療を見つめ直し、医療者の視点に偏りがちな運営やサービスを改善してきた藤沢町民病院。開院から15年かけて築きあげた病院と町民の強い信頼関係は、地域医療の一つの理想として全国の自治体から注目を集めている。

DATA

【岩手県藤沢町】面積 123.15 km²、人口 9,556 人（H20 年 11 月 1 日現在）の農業の町。近年企業誘致が進み、農工一体のまちづくりを進めている。毎年お盆に行われる「藤沢野焼祭」は野焼きとして日本最大級のイベント。スポーツはソフトボールが盛ん。

【国保藤沢町民病院】

常勤医師 5 人、非常勤 2 人、病床数 54 床の町立病院。入院、外来のほか、訪問診療、訪問看護などの在宅サービスを展開する地域包括ケアの中核。平成 17 年 4 月から地方公営企業法を全部適用。老健施設や老人ホームなどの 7 事業を束ね、経営の効率化やサービスの向上を図っている。



藤沢町民病院が掲げる「忘れ他」の精神は、「奉仕の精神」と思いやりの心で医療を提供してほしい」という故中尾喜久自治医大学長の願いが込められている。

地域医療を 育てる

情報を共有する

クローバーはA4判2ページで、救急医療の厳しい現状、地域医療の課題や福祉・健康情報などを特集し毎月1回発行している。東金市では回覧板と一緒に全戸配布され、周辺自治体を含めた行政機関や医療機関などにも配置されている。

「発行当初は、会として何がやりたいのか伝わらずに誤解されたり抗議を受けたりもしました。今は毎月楽しみにしてくれる人も多く、育てる会が地域医療のために一生懸命やっているという認知はあると思っています」と話す藤本さん。東金病院が救急の受け入れ拒否問題でマスコミで話題になったときに、その時の現場の状況を伝えたクローバー第31号は、外来患者にも配布され「医師が元気になった」と平井院長も喜んだという。

住民が医師を育てる

育てる会のもう一つの代表的な活動が東金病院と連携して行っている「病气予防のための懇話会（レジデント研修）」だ。

育てる

東金病院は地域の医療機関と連携した医師研修プログラムを設定しているが、そのほかに病院と育てる会の対話の中で生まれたプログラムがこの研修。住民ボランティア（医師育成サポーター）に若手医師（レジデント）が病気の予防や健康をテーマに解説し、その後の質疑応答を含めて住民が医師を評価するというもの。

「患者は潜在的にちゃんと話をしてくれる医師に診てもらいたいと思っています。住民が医師を育てる場所をつくり、医師のコミュニケーション能力が高まることで、よりよい関係を築くことができます」と研修のメリットを話す。

こういった研修内容が医療情報紙などにも掲載され、東金病院で研修を受けたという若手医師は年々増えているという。「わたしたち住民の活動が医師の招聘に貢献できているということで、活動の励みにもなっています」と付け加える。

医療現場の声を聞く

「医療現場のSOSは伝わりにくいものです。しかしそれで

千葉県東金市・NPO 法人

地域医療を育てる会

地域医療のために患者として、住民として何ができるか―。千葉県山武地域を中心に活動するNPO 法人 地域医療を育てる会（理事長・藤本晴枝さん）は、医療関係者と住民と一緒に知恵を出し合い、対話をしながら活動を行っている。地域医療を「育てる」ということはどういうことか、どのような活動を展開しているのか、藤本さんに話を聞いた。



「自

分たち患者がお客さまのままでいると、この地域の医療はダメになるという不安を感じていました」NPO 法人地域医療を育てる会（以下育てる会）理事長の藤本晴枝さんは、育てる会発足の気持ちをこう振り返る。当時、新臨床研修制度の導入で地域医療の中核である県立東金病院（院長・平井愛山医師）でも医師の引き揚げが始まり医師不足が深刻化していた。

そのころ、医療センター構想のアドバイザーだった藤本さんは平井院長から「これからの病院経営には住民の理解と協力が欠かせない。具体的なアクションを起こしてほしい」という相談を受ける。「医療について素人の自分が知らないことは、ほかの人も知らない。それを取材して伝える情報紙を作ろうと思いました。知ることによって知恵を出そうとする人が生まれるかもしれないという期待もありました」と当時を振り返る。

一緒にやろうというメンバーも少しずつ増えていった平成17年4月、藤本さんは地域医療を育てる会を立ち上げ、情報紙「CLOVER（クローバー）」を発行した。



絵本「くませんせいのSOS」は、子どもたちに地域医療の問題を分かりやすく伝える教材になるようにと藤本さんが描いた。今後は中学生向けの冊子も作りたいと考えているという。

患者を助きたい医師と医師を大切に
いれば地域の医療は崩壊しない――。



NPO 法人 地域医療を育てる会

藤本晴枝 理事長（千葉県東金市）

【ふじもと・はるえ】平成8年に東京から東金市に転入。ボランティア活動しながら平成16年に山武地域医療センター構想策定委員会アドバイザーに就任。平成17年4月に地域医療を育てる会を設立する。地域医療を守る住民活動の代表例として全国各地で講演や発表を行っている。3児の母。

地域医療の展望

自治体病院の多くが医師不足、看護師不足、赤字経営などの問題を抱えるなかで、宇出津病院は今後、どのように問題を解決し、地域医療を守っていくのか。病院開設者である持木一茂町長と病院長である小森和俊医師の考えは。

宇出津病院の経営状況は。

持木 自治体病院の7割以上が赤字経営という状況で宇出津病院も経営的には決して良いとは言えない。しかし開業医ではできない救急医療などの不採算部門を担うことは自治体病院の使命でもある。「命を守る」必要経費でもあり、ある程度の赤字はやむを得ないと考えている。

医師の確保は。

持木 医師や看護師の確保は行政としても積極的に支援している。わたしも地元出身の医師に直接お願いに回っているが、家族の問題などですぐには来てもらえないという状況が多い。珠洲には地元の医師が数人と能登町出身の医師もいるが、

宇出津病院には地元出身の医師が一人もいない。とにかく地元出身の医師の情報が必要だ。

今年内科医の一人は自治医大から派遣してもらったが、県内の自治医大医師の半数が県立中央病院勤務。もともと地方の病院に派遣してもらえればと思う。

自治体病院の連携は。

持木 今後、奥能登の自治体病院同士との連携は絶対に必要。現在、珠洲との連携は進んでいると聞いているが外科系、内科系など病院それぞれの特徴を生かした連携を支援していきたい。奥能登に一つの中核病院を造り今の病院を診療所にするという構想もある。地理的条件もあり現実的には難しいだろうが一案ではある。

保健、福祉との連携は。

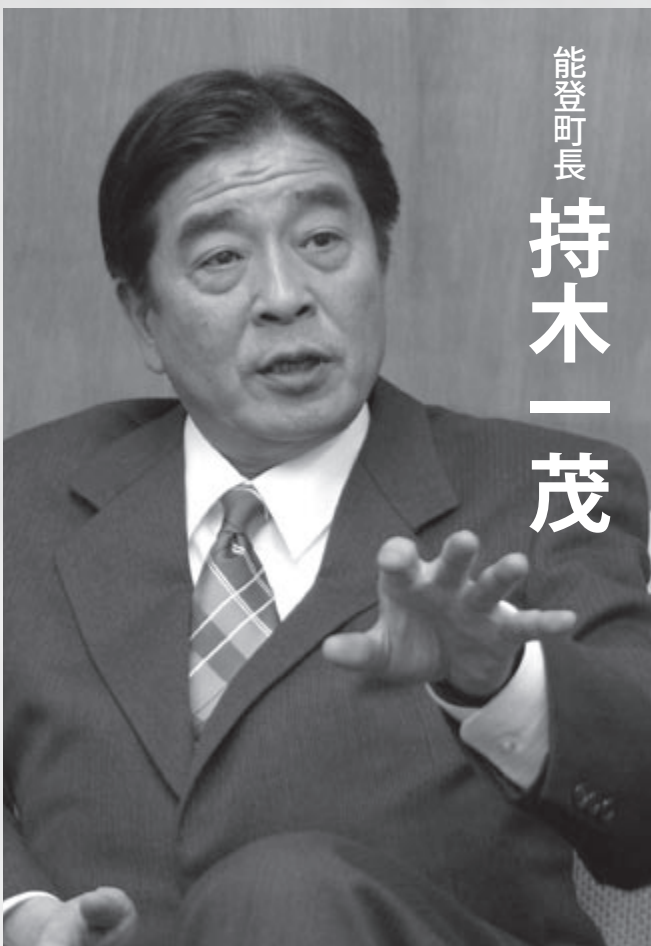
持木 病院が中心となって地域包括ケアを推進することは理想的だと思うが、医師不足、看護師不足で病院に余力がない現状では難しい。今年から特定健診が始まったが、能登町の受診率は県内最低レベル。もともと地域に向いて受診率を上げたいが医師、看護師不足では会場を減らすしかないという状況だ。

行政の果たす役割は。

持木 行政としては医師確保、看護師確保に全力を尽くす。そして住民の皆さんの協力を得ながら、医師がこの町に残りたくなるような魅力ある町づくりを進めていく。宇出津病院はこの地域になくてはならない病院。行政、病院、住民が共通の意識を持ち、一体となって守っていききたい。

医師が能登町に残りたくなるような魅力ある町づくりをしていく。

能登町長 持木一茂



宇出津病院をこのまま残していくには、病院が必要だという町の人の力がある。

医師不足の影響は。

小森 今年、内科と整形外科が共に一人減となり常勤医師は14人から12人になった。特に整形外科は2人から1人となり、医師の負担がかなり大きい。現在は大学病院にも医師が少なくという状態で、県も医師確保の後押しはしてくれているが、現実問題として医師の確保は非常に厳しい状況。▼

病院や診療所との連携は。

小森 医師が少ないのは奥能登の公立病院はどのも同じ。例えばこの地域の脳外科の患者は珠洲へ、泌尿器科がない珠洲の患者は宇出津へ来るなど、やむを得ずということもあるが、少し

ずつ役割分担が進んでいると言える。小児科においても宇出津、珠洲、輪島の小児科医と、穴水の開業医が相談しながら小児救急を分担している。病院としてもそういった連携をバックアップしていきたい。

診療所との連携は十分できていると思う。ほかの地域よりも進んでいるのではないか。

病院が目指す医療は。

小森 宇出津病院は、これまで医療の地域格差の解消を目指してきたし、現在も目指している。能登町には、開業医の先生もたくさんいて、特別養護老人ホーム、療養型の病院やグループホームなどもある。それぞれが役割を果たせば、ある程度の医療はこの地域だけで完結することができ。それがうまく機能すれば地域包括ケアはできるので、保健、医療、福祉を一体的に運用する必要はないと思う。そう考えると宇出津病院の役割は、まず急性期の病気を治すことにある。

Q 5年後、10年後はどうなるか。

小森 奥能登にどの水準の医療が必要か見極める必要がある。

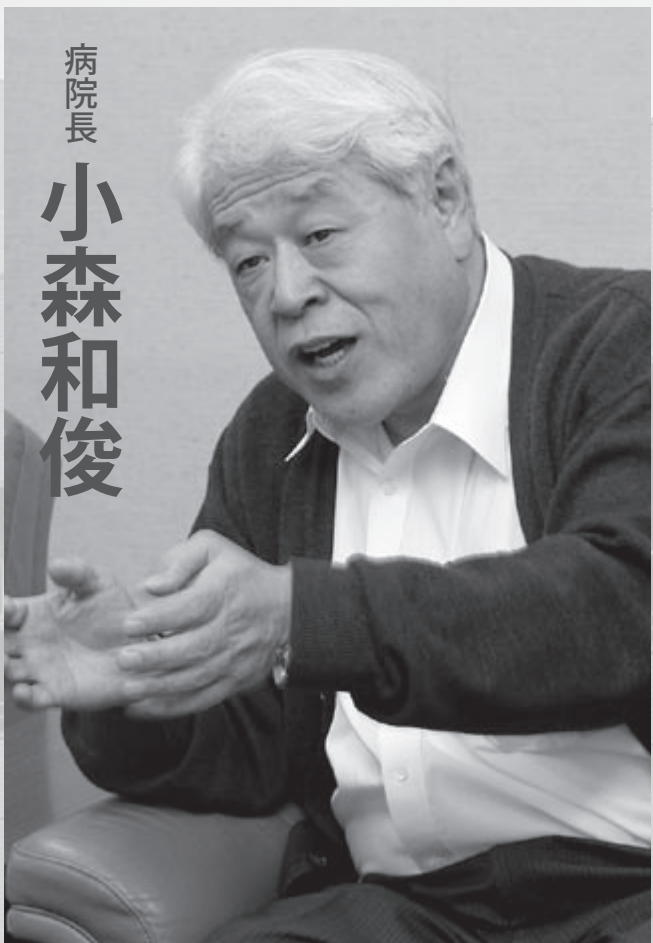
わたしを含め高齢の医師は定年を迎えるし、今のままでは補充はない。奥能登の公立病院の中でも、高度医療を担う病院、診療所的な病院へと機能分担をしなければならぬだろう。医師は今引く手あまた。この地域に必要とされているということが感じられなければ、簡単にどこかに行ってしまう。いかに医師をこの地に引き留めるかが大切なことだと思う。

この病院を今のまま残していくには、この病院が必要だという町の人の力がある。

今後の見通しは。

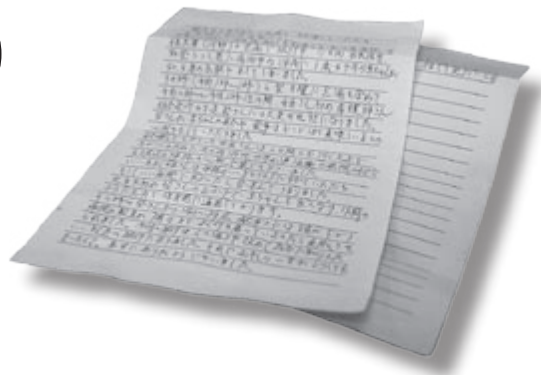
小森 宇出津病院の医療スタッフは、現状の厳しい流れを一生懸命せき止めている状態。水が一気に流れ出ないよう住民の皆さんの協力が必要だ。

数年後には、金沢の研修指定病院から、地域医療を学ぶために研修医を派遣してくれるという話もあるし、県や町の奨学金制度を利用した看護師も入ってくる。医師確保と看護師確保の道筋がしっかりできれば、安定した医療を提供できる。今後も地域医療の中核としての役割を粘り強く果たしていきたい。



病院長 小森和俊

【こもり・かずとし】公立宇出津総合病院長。金沢大学医学部を卒業し付属病院第二外科に入局。金沢大学がん研究所付属病院、浅ノ川総合病院、珠洲市総合病院、富山市民病院などを経て、昭和58年4月に宇出津病院外科医長。平成元年7月から病院長となる。



10月20日、公立宇出津総合病院に次のような内容の手紙が届いた。

【以下原文のとおり掲載】
旅行中の赤ちゃんの急病で診察していただきお世話になったお礼にと。

10月の11日（土）～18日（月・祝日）を利用して私の定年祝い
を娘夫妻の企画で旅行中、11日（土）国民宿舎能登うしつ荘に
宿泊中の深夜に1歳4カ月の赤
ちゃんが40・4度の高熱を出し
てしまいました。

その時（午前1時～2時）と
翌、日曜に点滴も含めて午前10
時～午後2時位の間、女医さん
はじめ、看護師さん、総合受付
の方達皆さんには大変お世話に
なりました。皆さんが赤ちゃん

の具合や、食事はどこが美味
しいよとの心配をもしていた
できました。

診察してくださった女医さん
は2日間とも同じ先生で、万が
一のために次の宿泊地の片山津
温泉の病院の紹介、名古屋迄の
帰路の心配を案じて下さいまし
た。いい先生に診ていただき、
そしていい病院で良かったと皆
喜んで帰りました。

先生をはじめ、皆さんのおか
げで赤ちゃんも良くなり、以前
のように元気で保育園に通園し
ております。

その時の皆さん方の温かい対
応、献身さには頭が下がり、病
院の教育が隅々までよく行き届
いているのだと実感させられま
した。今回の旅行は、人の温か
さを改めて存分に知りたい
記念の旅行になりました。それ
でお礼の一言がどうしても言い
たくて。本当にありがとうございました。

追伸

今回の人と人とのふれあいの件
について

妻と子供夫婦、小学校と高校
の教育に携わる者として、道德
の時間等に機会があれば話して
みたいとも言っていました。

地域医療を守る

今回のケースは小児科医が
診察することができた。

実は24時間365日体制（休日、
夜間に患者の安全のために二人
の医師を配置し、医師が過労で
倒れない状態）で小児救急を行
うには11人以上の小児科医が必
要といわれている。宇出津病院
の小児科常勤医は1人。気軽に
救急外来を訪れることは医師を
疲弊させ、やがて病院から立ち
去らせることにつながる可能性
もある。そうすると今後、宇出

津病院に小児科医が来ることは
なくなるだろう。

小児科だけではない。今年医
師が減った内科、整形外科はも
ちろん、そのほかの医師、看護
師、医療スタッフも激務である
ことには変わりはない。そんな医
療スタッフの心を支えているの
は、地域に必要とされているこ
とが実感できる、患者からの「あ
りがとう」という言葉なのでは
ないだろうか。

この手紙を読んだ医師や医療
スタッフは、今まで以上にやる
気を増すに違いない。そう考え
ると「ありがとう」の一言が医
師や看護師を育てることにもつ
ながる。つまり、地域の医療を
守り、育てるのはわたしたち住
民の「心」なのだ。

病気を抱え、不安な気持ちの
患者を理解する「心」と、一生懸
命治療してくれることへの感謝
の「心」が、宇出津病院を支え、
地域の医療を守ることにつなが
るのではないだろうか。

「なくなつてからでは遅い」。
のと鉄道の廃線問題では、わた
したちはなくなつて初めてその
大切さを痛感した。鉄道には車
やバスなどの代わりがあるが、
病院は命にかかわるものであ
り、その代わりはない。

近い将来、能登北部の公立病
院再編が本格的に議論されたと
き、宇出津病院を守ることがで
きるのは、わたしたち住民しか
いない。

『いのちとく生命の砦』である地域医療
を守るためには、病院が変わり、
住民も変わらなければいけない。
今はルールもなくなった鉄
道跡が、そう訴えかけている。

（特集・生命の砦 終わり）

これからもずっと
この町で生きていくために――

【参考資料】
伊関友伸「まちの病院がなくなる!?～地域医療の崩壊と再生～」
石川県医療計画
【取材協力】
岩手県藤沢町 畠山 浩、千葉県芝山町 小川正明

自分に何ができるか—— 答えを見つげにアフリカへ。

国際貢献の道へ

開発途上地域の経済的・社会的発展のために現地の人々と共に活動を行う「青年海外協力隊」は、独立行政法人国際協力機構（JICA）が日本国政府の国際協力の一環として事業を実施している。その平成20年度2次隊として、薬剤師の滝川麻衣さん（27歳）＝宇出津＝がタンザニアに派遣された。

「中学校時代から海外に興味があり、大学3年の時に初めて一人で海外旅行をした」と話す滝川さんは、観光客として海外旅行を繰り返す日々にもなしさを覚えたという。「その場所ですべてを一生懸命生活している人がいる。貧しくても幸せに暮らしている人がある。飢えや病気に苦しんでいる人がある。いろいろな人に会って、観光客としての自分は誰の役にも立っていないと感じるようになった」と語る。

その後、世界の情勢を自分で調べるようになった滝川さん。歴史、紛争、貧困、民族問題などを知れば知るほど「恵まれた日本にいても、世界中で苦しんでいる人たちがいることを忘れたくない」と思うようになり、

国際貢献の道に進むことを決意する。

「とにかく自分の目で見てみないとわからない」と、昨春秋に青年海外協力隊に応募。派遣希望先は『アフリカ』とした。「苦難の歴史が長いアフリカの人たちが安心して暮らせる生活を一緒に目指したい」と考えていた。

タンザニアで感染症対策

タンザニア南部のソングエア市に、感染症対策員として2年間の派遣が決まった滝川さん。薬剤師としての知識と技術を生かし、マラリア、結核、HIVなどの感染率低下のために、保健・衛生活動を行う予定だ。

「現地では与えられた任務以外に縛りはなく、日本語や日本の文化を教えている隊員もいる。何をやるかは自分次第。行ってみて自分のやりたいことを探したい」と意気込む。

青年海外協力隊員としての2年間は、国際貢献の道に進むことを決めた滝川さんの最初のステップでもある。「異なる文化に入りながら自分を保ち、コミュニケーション能力を含めて自分がどれだけのことができるか見てみたい。そしていろいろな人に

会って今後の人脈も作っていきたい」と2年間タンザニアで過ごすも一つの目的を語る。

答えを見つげに行く

「薬剤師ではできることが限られる。病気になるようなことがないよう、教育や基礎的なことにもかかわりたい」と考えている。このまま薬剤師として進むか、それとも一からやり直すかはまだ決まっていないという。

「いずれにしても専門性をもってやる必要がある。自分のやりたいこと、できることが何なのか、その答えを見つげにタンザニアに行く。この2年間で決まる」と力強く語る。

生きることは人とかかわることだと考えている滝川さん。「人に喜びを与えるのも悲しみを与えるのも人間。わたしは人を笑顔にさせる側に立ちたい」。

2年後の取材を約束した滝川さんは、大きな夢と明るい笑顔を残してタンザニアに出發していった。



【DATA】

東アフリカ最大の国。アフリカ最高峰のキリマンジャロ（5,895 ㍎）やビクトリア湖を有し、雄大な自然とさまざまな野生動物が見られることで有名。
国名：タンザニア連合共和国
面積：約 94 万km²（日本の約 2.5 倍）
人口：約 3,740 万人（アフリカ第 7 位）
首都：ドドマ
公用語：スワヒリ語、英語

青年海外協力隊員・薬剤師

滝川麻衣さん

たきかわ・まい（27 歳）＝宇出津＝

Mai Takikawa

公益信託エンデバーファンド21 平成21年度 申請受け付け開始

まちづくりのアイデアを資金面で援助する「公益信託エンデバーファンド21」の平成21年度申請受け付けが始まります。今回から書類審査制度を導入し、書類審査を通過した申請が来年5月にプレゼンテーション（企画の説明）を行います。書類審査の記入事項はそれほど多くはありませんので、気軽に申請することができます。

〈申請から交付決定までの流れ〉

◆平成20年度まで

3月：申請受付期間

5月：プレゼンテーション、交付決定

変更

◆平成21年度申請分から

12月：第1次申請受付期間（12月12日～1月30日）

2月：第1次書類審査、通過者は第2次申請へ

3月：第2次申請受付期間

5月：申請者プレゼンテーション、交付決定

〈申請書交付場所〉興能信用金庫本店、各支店

〈問い合わせ・相談窓口〉興能信用金庫本店 ☎ 62-1122

役場企画財政課 ☎ 62-8503



能登町とNHK金沢放送局では、能登半島地震復興を支援するために毎週金曜日午後8時からNHK総合で放送されている「金とく」の公開録画を実施します。観覧を希望する人は、下記のとおり申し込みをしてください。

番組名 能登半島地震復興支援「金とく あなたの町に参ります～出前コンサート～」公開録画

日時 平成21年1月15日(木)

開場 14:00、開演 14:30、終演 16:00 ごろ

会場 役場能都庁舎4階大集会場

出演 小林幸子さん、堀内孝雄さん

応募方法 入場は無料ですが、入場整理券が必要です。観覧を希望する人は郵便往復はがきに必要事項を記入し、申し込みください。

【往信表面】〒920-8644（住所不要）NHK金沢放送局「金とく出前コンサート」係

【往信裏面】応募者の郵便番号、住所、氏名、電話番号

【返信表面】応募者の郵便番号、住所、氏名

【返信裏面】記載不要（抽選結果を印刷します）

【応募締切】平成20年12月22日(月)必着

※応募者多数の場合は抽選の上、入場整理券（1枚で2人まで入場可）が送られてきます。当選は1人1通です。

※応募の際にいただいた個人情報は、抽選結果の連絡のほか、受信料のお願いに使用させていただく場合があります。

☎ NHK金沢放送局「金とく出前コンサート」係

☎ 076-264-7030（平日10:00～19:00）

第3回 議会 臨時会

第3回能登町議会臨時会が10月30日に招集されました。会期を1日とし議案2件が上程、原案のとおり可決されました。また、議会運営委員会、各常任委員会委員の任期満了に伴い、新しく委員が選任されました。

■可決された議案

・新たに生じた土地の確認について
・字及び小字の区域の変更に
について
埠頭（ふとう）用地として石川県が埋め立て、管理している宇出津港内の地先公有水面100・91㎡の確認と変更。

■議会組織の変更

議会組織が次のとおり変更となりました。

○議会運営委員会

委員長 大谷内義一
副委員長 宮田勝三
委員 久田良平、鍛冶谷眞一、山本一朗、向峠茂人
○総務常任委員会
委員長 菊田俊夫
副委員長 酒元法子
委員 山崎元英、新平悠紀夫、山本一朗、向峠茂人
○教育民生常任委員会

○産業建設常任委員会

委員長 河田信彰
副委員長 鶴野幸一郎
委員 大谷内義一、多田喜一郎、鍛冶谷眞一、石岡安雄、志幸松栄
○決算特別委員会

酒元法子議員の辞任により、新たに南正晴議員が選任されました。

秋の叙勲

国や社会への長年の功労あるいは社会の各分野における優れた行いに対して国家が個人を顕彰する栄典には、褒章と勲章があります。11月3日付けで発表された「秋の叙勲」では、その功績に対し能登町から2人が選ばれ、栄えある受章となりました。

旭日双光章

やまもと けん

山本 研さん（太田原）



昭和55年、43歳で町議会議員に初当選。以来26年6カ月の長きにわたり地方自治発展に寄与した山本研さん(72歳)。地域住民からの厚い信頼を受け「地域の声を町政に」を実践し続けました。平成12年から14年まで議長を務めるなど、今日の能登町誕生にも尽力しました。「これまでも、これからも広く人と交わって知恵を出し合い、地元振興に貢献していきたい」と語る山本さんの笑顔は、故郷への愛情にあふれています。

瑞宝単光章

こばやし かずお

小林 一雄さん（柿生）



小林一雄さん(73歳)は、昭和34年から46年間、消防団員として活動し平成3年には山田分団長、また7年からは旧能都町消防団副団長として任務を遂行しました。「皆さんの支えのおかげです」と喜びを語る小林さんは、その判断力や指揮能力から団員の大きな信頼を得ていました。「今でもサイレンが鳴ると気持ちが走ります。今後もできる限り協力して恩返しをしていきたい」と話す心には、熱い消防魂が今も存在しています。

灯台記念日 感謝状授与式

ふじたに まさのぶ

藤谷 政信さん



11月1日の灯台記念日に合わせ、海の安全を守るために尽力した個人に対して全国的に表彰が行われています。海上保安庁の業務である灯台の監視に15年間にわたり協力した藤谷政信さん(61歳)=鶴川=に感謝状が贈られ、その伝達式が11月6日に能都庁舎で行われました。

環境大臣表彰 伝達式

やました かつお

山下 勝男さん



30年以上にわたり町内の一般廃棄物収集運搬に従事し、生活環境保全推進に貢献したとして山下勝男さん(70歳)=国光=が環境大臣表彰を受賞しました。伝達を受けた山下さんは「この仕事に誇りを持っています。健康で続けられたことがうれしいです」と受賞の喜びを語りました。

第 106 回久田船長碑前祭
郷土が生んだ英雄を語り伝える

明治 36 年 10 月 29 日、青函連絡船「東海丸」の船長として、多くの乗員乗客の命を救って殉職した久田佐助船長。その勇気ある行動をたたえ、語り伝えようと毎年命日の日に久田船長顕彰会と鶴川公民館が共同で開催する碑前祭は、今年で 106 回目を迎えました。この日は雨のため公民館での開催となりましたが、式典には鶴川小学校 5・6 年生、鶴川中学校の 1 年生、地元住民など約 80 人が参列しました。神事のあと、小学 5 年生代表による国定教科書の朗読や唱歌の全員合唱などが行われ、参列者は郷土が生んだ英雄に思いをはせていました。



玉ぐしをささげる鶴川中学校 1 年の清水寛生さん

小木小学校1日消防士体験
実体験から防火の心を育てよう

秋の全国火災予防運動に合わせ、11 月 5 日に小木小学校の児童を対象に避難訓練と 1 日消防士体験が行われました。これは消防士の仕事や火の取り扱い方について学んでもらおうと、小木分団と能登消防署内浦分署が協力して開いたものです。はじめに訓練についての説明を受けたあと、5・6 年生の児童を対象に、実際に火を消火器で消す作業や、防火衣を着た放水、バケツリレーなどが行われました。また、火災時の煙の様子がわかる「煙体験ハウス」で煙の猛威を体感するなど、火災の恐怖と防火活動の大切さについて考える 1 日となりました。



水の勢いに負けないよう力を込めてホースを握る

メモリアルストーンを配置した柳田小学校 3 年生



北河内ダム 最終コンクリート打設式
北河内ダムに埋めた記念の石

石川県が進める町野川総合開発事業、北河内ダム建設工事のダム堤体工事コンクリート最終打設式が 11 月 18 日に行われました。式典には、工事関係者のほかに、地元五十里、北河内地区の皆さん、柳田小学校 3 年生など約 80 人が参加し、ここまで順調に進んでいる工事の区切りとなる最終コンクリート打設を祝い、今後の安全を誓いました。最終打設の場所には、柳田小学校児童がメッセージや絵を描いたメモリアルストーンが投入され、8 万立方メートルに及ぶコンクリートと一緒にダム本体の一部となりました。

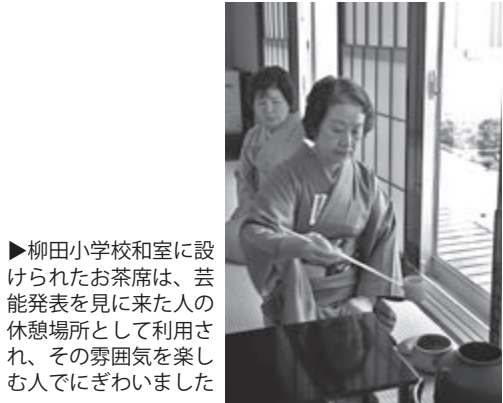
政所利子さんのコーディネートにより事例発表する代表者たち



全国過疎問題シンポジウム 2008
春蘭の里で全国の優良事例発表

過疎に悩む全国各地の市町村が集まり議論を深める「全国過疎問題シンポジウム 2008in いしかわ」が、10 月 22 日から 3 日間にわたり能登地方の各地を会場に開催されました。能登町では、宮地交流宿泊所「こぶし」で分科会が開かれ、本年度、過疎地域自立活性化優良事例表彰を受賞した 4 団体が活動を紹介。このうち、会長賞を受賞した大分県の(株)夢のぼり工房は、地元で採れる 5 種類の豆などを炊き込んだ「お宝めし」が地域で 150 世帯もの豆栽培契約農家を生み出すなどの経済波及効果をもたらしていることを報告しました。

第 4 回能登町民文化祭
人生を彩る文化、華やかに



▶柳田小学校和室に設けられたお茶席は、芸能発表を見に来た人の休憩場所として利用され、その雰囲気を楽しむ人でにぎわいました

4 回目を迎えた能登町民文化祭が 11 月 2 日、3 日の 2 日間にわたって開催されました。昨年に引き続き柳田地区を主会場に開催され、芸能部門は柳田小学校、芸術部門は柳田体育館で、それぞれ文化協会員らが日ごろの練習の成果や自慢の作品を披露しました。2 日に行われた芸能発表では、町文化協会の高木泰憲会長が「明るく楽しい地域活動として、芸能や芸術を見てください」とあいさつし、ステージでは舞踊やコーラス、大正琴などが次々に披露されました。芸術部門には約 400 人以上が作品を展示し、訪れた人からは「全部見るだけでも大変なほど、本当に見応えがある」という声も聞かれました。

大人相手に堂々と張り合う折坂君



ごいたビギナー＆青壮年大会
ごいたで広がる世代間交流の輪

宇出津地区に伝わる伝承娯楽で町の文化財にも指定されている「ごいた」は保存会が精力的に普及・保存活動を行っています。10 月 26 日、ごいた保存会は、若い世代への普及を目的に「ごいたビギナー＆青壮年大会」を開催しました。大会には小学生を含む 20 人が参加。洲崎一男保存会長は「小学生も参加してびっくりしている。楽しみながら腕を磨いてほしい」とあいさつしました。熱戦が繰り広げられた大会結果は、宇出津小学校 5 年の折坂和希君と広田茂さん（40 歳）ペアが優勝。大会参加者や保存会員は、折坂君の実力に舌を巻いていました。



交通の妨げにならないように注意しながらの作業

くらしの 掲示板

能登町役場各課直通電話番号一覧

【代表番号☎62-1000】

能都庁舎

総務課☎62-8510

企画財政課☎62-8503

税務課☎62-8505

収納対策室☎62-8506

会計課☎62-8509

監理課☎62-8504

農林水産課水産分室☎62-8508

環境対策課☎62-8507

能都サービス室☎62-8500

内浦庁舎

健康福祉課

(児童保育)☎72-2512

(医療介護)☎72-2502

(福祉庶務)☎72-2503

(健康推進)☎72-2504

(包括支援)☎72-2513

商工観光課☎72-2505

海洋深層水対策室☎72-2506

学校教育課☎72-2509

生涯学習課☎72-2510

水道課☎72-2508

下水道課☎72-2507

町民課☎72-2501

内浦サービス室☎72-2500

柳田庁舎

広報情報推進課☎76-8301

建設課☎76-8304

農林水産課☎76-8302

農業委員会☎76-8303

柳田サービス室☎76-8300

議会庁舎

議会事務局☎76-8310

お知らせ

償却資産耐用年数が変わります

税制改正により機械および装置を中心に資産区分の見直し、耐用年数の変更が行われました。このため平成21年度分の償却資産（固定資産税）の申告から、改正後の耐用年数を用いますのでご注意ください。詳しくは町ホームページでご確認ください。

☎税務課 ☎ 62-8505

工業統計調査にご協力ください

12月31日現在で行います。調査の実施については今年12月から来年1月にかけて調査員が伺います。調査票に記入した内容は厳守されますので正確に記入をお願いします。

☎企画財政課 ☎ 62-8503

奥能登特産物の料理レシピ試食会

参加は無料です、お気軽にどうぞ。
 〈日時〉12月10日(水) 11:00～12:30
 〈場所〉能登空港ターミナルビル2階 市町PRコーナー

☎奥能登地区農林漁業女性交流会実行委員会 ☎ 0768-26-2323

特急バス運行ダイヤ変更!

■珠洲若山特急 12月20日(土)をもって廃止

■宇出津真脇特急線

12月21日(日)から「の」と海洋ふれあいセンター発着」から「飯田車庫前発着」に一部変更
 ☎北鉄奥能登バス(株) ☎0768-22-2311



催し・講座

里山マイスター養成プログラム



3期受講生を募集します。多彩な講師陣と共に実習を始めてみませんか。
 〈募集定員〉15人程度 ※受講無料
 〈受講資格〉能登の農林水産業への新規参入を目指す人、関連するビジネス起業や、里山里海の保全再生を志す人
 〈受講期間〉平成21年4月～23年3月 隔週金曜日・毎週土曜日
 〈場所〉金：能登空港 18:20～20:00
 土：金沢大学里山マイスター能登学舎（珠洲市三崎町）9:00～16:00
 〈申込期限〉平成21年2月28日(土)
 〈選考方法〉書類審査、面接
 ☎金沢大学地域連携推進センター ☎ 076-264-6698

能登の素晴らしい魅力を再発見

能登町で就職希望の人は必見です。商工会を通して能登町を知ります。
 〈日時〉12月17日(水) 14:00
 〈場所〉能登町商工会（宇出津）
 〈テーマ〉「醸しの郷の推進と雇用創出」
 〈定員〉20人 ※参加無料
 〈申込期限〉12月12日(金) 17:00
 ☎町雇用創出連絡協議会(内浦庁舎内) ☎ 72-1012

今月の納税

納期限：12月25日(木)
 固定資産(都市計画)税 第3期
 国民健康保険税 第6期

地域づくり支援講座は無料です

誰でも参加できます。場所は能登空港ターミナルビル4階です。
 〈日時〉12月12日(金) 18:20～19:50
 〈講師〉「地域活性化とバイオマス」上野裕士氏（内外エンジニアリング(株)取締役兼技術本部長）
 ☎能登里山マイスター能登学舎 ☎ 88-2568

家庭教育電話相談員の養成講座

子を持つ親などの、家庭教育上の悩みや困りごとについての相談に適切に助言できる相談員を養成します。
 〈日程・講師〉
 【第1回】12月13日(土)「カウンセリング、電話相談について」
 森坂八重子先生（遊学館高等学校栄養士・家庭教育相談員）
 【第2・3回】1月10日(土)、2月28日(土) 寺井弘実先生（金沢星稜大学人間科学部准教授・臨床心理士）
 【第4回】3月14日(土) 砂山俊英先生（七尾児童相談所指導員）
 〈場所〉能都庁舎3階研修室
 〈時間〉14:00～17:00 ※定員10人
 〈対象〉青少年の健全育成、家庭教育に関心が高く、全日程受講できる人
 〈受講料〉無料（教材費は別途必要）
 〈申込期限〉12月10日(水)
 ☎生涯学習課 ☎ 72-2510

裁判員制度Q&A

⑪ 選ばれてから慌てないために



金沢地方検察庁
 金沢弁護士会
 ☎金沢地方・家庭裁判所 ☎ 076-262-4432

あなたも選ばれるかもしれない裁判員。平成21年5月21日から国民が裁判に参加する裁判員制度がスタートします。

Q 裁判は時間がかかるのでは？

A 実際の審理日数は、それぞれの事件の内容などにより異なりますので一概には言えませんが、約7割の事件は数日間で終わるのではないかと見込まれています。国民の皆さんの負担をできるだけ軽くする運用に努めていきたいと思っています。

Q 裁判員には日当や交通費が支払われるのですか？

A 支払われます。日当の具体的な金額は以下のとおりです。
 ■裁判員および補充裁判員 1日当たり：10,000円以内
 ■裁判員候補者 1日当たり：8,000円以内

※このほか、裁判所から家が遠いなどの理由で宿泊しなければならない場合には、宿泊費が支払われます。

Noppi Happy Christmas

能登空港でクリスマス

12月23日(火)

サンタさんが
 のとくこうに
 やってくる!



♪輪島実業高校
 クリスマスコンサート♪
 ①12:00～ ②14:00～(無料)

★サンタがやってくる!

空港にプレゼントを持ってやってきます!館内にて 11:00～11:40、14:30～15:30

★クリスマスビンゴ大会

10:30～11:00、12:30～13:00

★クリスマスビデオ映写会（無料）

14:30～15:00

★クリスマスカード作り体験（無料）

10:00～12:00

★親子で作るクリスマスケーキ（無料）

【申し込み】12月12日(金)までに往復はがきで申し込みください〈先着20組40人〉

☎能登空港賑わい創出実行委員会

〒929-2392 輪島市三井町洲衛 10-11-1

☎ 0768-26-2303

有料広告

クリスマスケーキ
 ご予約承り中
 Flatt's Cafe
 能登町波並 62-1550
 当日の店売りはございませんので
 お早めにご予約ください。

有料広告

忘年会承ります!
 ■炭火焼き料理 お一人様 4,200円
 (牛ヒレ肉網焼き・アユの塩焼き・蒸し牡蠣・季節なべ・焼き鳥 ほか)
 ■和食会席料理 お一人様 4,200円～
 (和牛陶板焼きまたは季節なべ・刺身・天ぷら・海の幸とキノコホイ
 ル焼き・山揚げそば・しば煮おろしあえ ほか)
 おせち料理2段お重承ります!
 ■和食・洋食詰め合わせ 10,000円
 セミナーハウス山びこ
 能登町宇黒川 ☎ 76-1611

有料広告

冬のボーナスは 金利上乘せ定期預金 『こすのす ツーショット』
 年末資金のご相談 受付中!
 かがやく未来 地域とともに 興能信用金庫
 詳しくはお近くの窓口にお問い合わせください
 みんなで止めよう温暖化
 チームマイナス6%
 こすのす はチームマイナス6%に参加しています。



除雪に 関する お願ひです。

町は、毎年除雪計画を立て対策しています。しかし町道は国・県道に比べると幅員が狭く、除雪機が入らない道路があるなど完全な除雪ができないことがあります。

万全な除雪体制の確立のため次のことに注意して、みんなで力を合わせて除雪に努めましょう。

- ①自動車の路上駐車・路上放置は絶対にしないでください。
- ②除雪機の前後に飛び出したり、進行の妨げにならないようにしましょう。
- ③屋根雪や住宅前の除雪は、各自で行ってください。
- ④狭い路地などは町内のみんなで除雪しましょう。
- ⑤道路（特に通学路・歩道）に面する屋根には、雪止めをして事故防止に努めましょう。
- ⑥各町内にある消火栓・防火水槽・ごみ収集箱付近の除雪は町内みんなで行いましょう。
- ⑦除雪に際して、やむなく民地へ雪を押し出す場合もありますが、ご容認ください。
- ⑧除雪に関する問題については、まず区長・町会長までご相談ください。

☎建設課 ☎ 76-8304

場所 宇出津商店街特設会場
時間 午前10時～午後3時

■寒ぶりの解体・即売

1回目:10:30～ 2回目:14:00～
水揚げされたばかりの新鮮な寒ぶりをの目の前で解体、さばきたてをその場でご提供!

■港町宇出津 うまいもん横丁

ブリ大根、ブリしゃぶ、ブリ照焼きなどブリ料理がいっぱい!能登井、お寿司など食べたいもの盛りだくさん!

■漁師のおかみさん市

お父ちゃんが海でとってきた新鮮な魚介類を一気にドーンとご提供!冷凍イカを超価格にて販売!

■特産品が買える いいもの市

■大漁鍋!

早い者勝ち!なくなり次第終了です!

■こどもイベント

12:30～13:30
かわいいパフォーマンスをご覧あれ!

美味しい寒ぶりが食べられるお店情報!

寒ぶりのおいしい時期は12月中旬から1月中旬です。能登町内の各お店では、ブリづくしの定食やコース料理などが堪能できます。予約が必要ですのでお問い合わせください。

☎商工観光課 ☎ 72-2505



おいしい魚でまちづくり

のどこの寒ぶりまつり

広告募集中

「広報のと」に広告を掲載しませんか?
このサイズで広告料8,000円です。(町外業者は1万円)

申し込み、問い合わせは
広報情報推進課 (☎ 76-8301) まで

有料広告

スピード給付の **県民共済**

こども型 総合保障型
熟年型 新型火災共済

お問い合わせと資料のご請求は 石川県民共済生活協同組合
☎0120-63-5011 ☎076(263)5011(代) ☎076(263)5107
〒920-0901 金沢市彦三町2-1-10 真和ビル3F
ホームページ <http://www.ishikawa-kyosai.or.jp/> 携帯電話からはこちらへ▶<http://kyo-sai.jp/>

くらしの 掲示板

募 集

町営住宅の入居者を募集します

〈募集期間〉12月1日(月)～15日(月)
〈対象住宅〉姫団地 3DK1戸(姫)
〈家賃〉月額 35,000円
〈入居資格〉
・能登町に住所を有する人(予定者も含む)
・住宅に困窮している人
・町税などの滞納がない人
・収入基準:所得月額が20万円超
・単身の人はご遠慮いただくことがあります。
☎建設課 ☎ 76-8304

陸上自衛隊の生徒を募集します

〈応募資格〉平成21年4月1日現在で15歳から17歳未満の日本国籍を有する男子(採用数:約250人)
〈受付期限〉平成21年1月6日(火)
〈試験日〉平成21年1月10日(土)
☎自衛隊石川地方協力本部
能登地域事務所 ☎ 0768-52-4175
総務課 ☎ 62-8510

放送大学4月生を募集します!

放送大学はテレビなどを利用して授業を行う通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、幅広い分野での学びが可能です。資料を無料で差し上げます。
〈申込期限〉平成21年2月28日(土)
☎放送大学石川学習センター
☎ 076-246-4029

相 談

ジョブカフェ出張相談 in 能登町

〈日時〉12月22日(月) 9:00～12:00
〈場所〉能都庁舎 1階集会室
〈内容〉就職支援のプロ「ジョブサポーター」が個別相談をはじめ、応募書類の書き方、面接対策など一人ひとりに合ったサービスや情報を提供します。
〈対象〉就職や仕事の相談を希望する35歳未満の人 ※相談無料です
〈申し込み〉電話予約が必要
☎ジョブカフェ石川能登サテライト
☎ 0767-53-7070

12月4日から10日は人権週間

心配ごとなどがある人は、常設相談をお気軽にご利用ください。
〈常設相談〉
■金沢地方法務局人権擁護課
☎076-231-1247
■金沢地方法務局輪島支局
☎0768-22-0426
■女性の人権ホットライン
☎0570-070-810
■子どもの人権110番
☎0120-007-110

検察審査会をごぞんじですか?

交通事故、詐欺、おどしなど犯罪の被害に遭ったが検察官がその事件を起訴してくれない。このような不満をお持ちの人は下記までご相談ください。
☎輪島検察審査会 ☎ 0768-22-0054

弁護士が法律の相談に応じます

金沢弁護士会では能登法律相談センターを運営しています。お気軽にご相談ください。
〈12月の相談日〉4日、11日、18日、(木曜日) 13:45～16:15
〈場所〉穴水町地域情報センター
〈相談料〉30分以内 5,000円
〈申し込み〉相談日前日の午後5時までに電話で予約ください。
☎金沢弁護士会 ☎ 076-221-0242

心配ごとと相談をご利用ください

日常生活での悩みごとや心配ごとと相談員が親身になってお応えします。
■能都庁舎
9日(火)、19日(金) 10:00～12:00
■笹ゆり荘
9日(火) 10:00～12:00
■内浦福祉センター
10日(水) 13:30～15:30
■小木支所 22日(月) 13:30～15:30
☎社会福祉協議会 ☎ 72-2322

必ずチェック!最低賃金
使用者も労働者も
石川県 最低賃金
1時間 **673円**
使用者はこれより低い賃金で労働者を使用することはできません。
詳しくは「石川労働局」のホームページで!

有料広告

能登社氏
こたわりの銘酒がずらり!

地元産もち米を100%使用したお正月用のお餅はいかがでしょうか。
杵つきの美味しいお餅です。

農産物直売所
おくのといち

●鏡餅・丸小餅・とぼ餅
各種承ります!
●毎日おいしい餅製品が店頭にて!

☎72-2678
FAX 72-0274
能登町宇行延260

有料広告

真心込めて大切な人とのお別れを
お手伝いいたします。

葬儀についての分からないこと、不安なことなど、お気軽にご相談ください。

24時間
電話受付

忌明法要・年忌法要・お料理・引出物
籠盛などのご注文も承ります。

JA 内浦町葬祭センター ☎ 72-2424
能登町宇行延260(おくのといち内) FAX 72-0274

能登

EnjoyNoto
奥能登イベント情報

能登町からは「寒ぶりまつり」を紹介。

穴水町



○のと鉄道ディーゼルカーNT200運転体験
12月20日(土)、21日(日) (以後定期的に)
〈見所〉20分の講習を受けた後、運転体験ができます！参加費は1万円。予約は体験予定日の2週間前までにお願いします。
☎ NPO法人能登ネットワーク事務局
☎ 0768-23-8181

輪島市

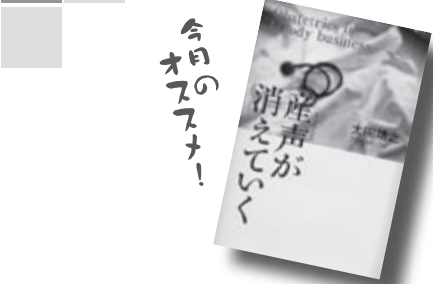


○能登總持寺祖院 ゆく子(とし)くる丑(とし)
静と動の響
12月31日(水) 22:30～
〈見所〉大晦日から新年を奥能登の總持寺で過ごしませんか。御陣乗太鼓、開運もちつき、飲食コーナーなど楽しい企画も盛りだくさんです。

珠洲市



○朗読劇「親指こぞう」チケット発売中！
1月5日(月)～7日(水) 計5回上演
〈見所〉木くずを敷き詰めた中に並ぶベッドが客席。おとぎ話「親指こぞう」を朗読する声を「寝ながら聞く」不思議なお芝居です。本の中に入ったかのような感覚をお楽しみください。
☎ ラポルトすず ☎ 82-8200



うぶこえ
産声が消えていく

■太田 靖之
ここに書かれたことは、日本の医療の現実である。志を抱き奮闘する現役医師が書いた衝撃の医療小説。

12月の新刊案内

夜 橋本 治 一心斎不覚の筆禍 佐藤 雅美
肉屏風の密室 森 福都
朝読新刊セット 童心社
新刊絵本セット 童心社
緑の文学館 新日本出版社 ほか

行事あない

■おはなし会 13日(土)・17日(水) 14:30
■おはなし学習会 10日(水) 19:30
■おはなし勉強会 21日(日) 13:30
■読書会(一般) 25日(木) 13:30

〈開館時間〉水～日曜日 9:00～17:00
〈休館日〉月曜日、火曜日、祝日、月末(図書整理日)

児童館12月の行事予定

こどもみらいセンター ☎ 62-1503 ★：対象未就園児の親子

◆開館時間 9:15～17:00 ◆休館日 月曜日、第3日曜日
※年末年始 28日(日)～1月4日(日)まで休館

5日(金) 10:30 ★ぴよぴよタイム
12日(金) 10:30 ★ぴよぴよタイム
13日(土) 13:30 ごいた教室(小学生以上)
14日(日) 13:00 年賀状作り(小学生以上)
19日(金) 10:30 ★身体測定
23日(火) 13:30 ノームクリスマス会(幼児は保護者同伴)

まつなみキッズセンター ☎ 72-0269

◆開館時間 10:00～18:00 ◆休館日 日曜日、月曜日
※年末年始 28日(日)～1月5日(月)まで休館

5日(金) 15:30 ペン上手(硬筆学習)
6日(土) 14:00 読み聞かせボランティア「ひまわり」
10日(水) 15:00 クリスマスミニお茶会
17日(水) 15:00 あっぶるくらぶ「ふれあいレクリエーション・2」
19日(金) 15:30 ペン上手(硬筆学習)
20日(土) 14:00 読み聞かせボランティア「ひまわり」お楽しみ会
24日(水) 15:00 あっぶるたいむ「冬の星空ってどんなかな？」
※4日・11日・18日・25日(木) 10:00 育児教室

図書館

おいでよ

中央図書館 宇出津公民館内
☎ 62-3458



楽しみましょう(ご案内)

町民ソフトバレーボール大会
〈日時〉平成21年2月8日(日)
9:00～12:00 ※参加無料
〈場所〉内浦体育館
〈部門〉男子の部・女子の部
〈チーム編成〉
・各公民館または町区長会単位で構成
・年齢制限は原則設けない
・1チーム4人以上(試合に出るのは4人で控え選手は何人でも可)
・男子の部に出場するチームへの女子の参加も可

☎ 生涯学習課 ☎ 72-2510

奥能登地区少年柔道大会(10/26)

がんばりました(結果)

〈団体戦〉②雄志館A(尾形怜雅、尾形結熙、山本達也、石垣今日太、山本竜之介)
〈個人小学2年〉①尾形怜雅③松井幹太、寺下竜生
〈個人小学4年〉①尾形結熙
〈個人小学5年〉①山本達也
〈個人中学生〉②東手純弥(能都中)③東手翔太(能都中)
能登地区少年柔道志賀大会(11/2)
〈個人小学5年〉①山本達也(真脇小)
〈個人小学3年〉③尾形怜雅(宇出津小)

華麗なプロの技とテニスの楽しさに触れる！



元プロテニスプレーヤーの神和住純さんを招いた「エンジョイテニスフェスティバル」が10月25日・26日の2日間にかけて能都健民テニスコートを会場に開催されました。平井健一さん、平木理化さん、浅越しのぶさんらも招待選手として参加するなど、集まったテニス愛好者らと一緒にレッスンやプレーを楽しんでいました。

金沢市民マラソン大会(11/9)

〈小学4年女子3㍑〉④南 安寿香
(柳田陸上教室・12分41秒)

■能都中学校

郡中学校新人大会(9/20・21)

〈野球〉① 〈剣道女子団体〉①

〈バレーボール女子〉②

〈ソフトテニス女子団体〉①

〈ソフトテニス女子個人〉

①佐々木・岩崎組②河村・中野組

〈相撲団体〉②

〈相撲個人〉②橋本修弥

七尾市陸上競技選手権大会(10/13)

〈女子砲丸投〉①岡田莉歩(6m48)

②川端亜由香(6m38)

〈女子400mR〉③岡田、川端、石垣、干場(1分3秒3)

〈ジュニア男子100m〉②本谷好啓(12秒44)

③時長紫苑(12秒66)

全登登中学校新人陸上競技大会(10/15)

〈1年女子100m〉④干場仁美(14秒52)

〈共通女子200m〉⑧干場仁美(31秒73)

〈共通男子200m〉②本谷好啓(25秒17)

⑧時長紫苑(26秒43)

〈共通男子100m〉②本谷好啓(12秒43)

⑦時長紫苑(12秒53)

全登登新人柔道(10/5)

〈男子55kg級〉①東手翔太

全登登新人ソフトテニス大会(10/4)

〈女子団体〉②

〈女子個人〉①佐々木・岩崎組

■柳田中学校

鳳珠郡中学校新人体育大会(9/20)

〈バレーボール女子〉①

全登登中学校新人陸上競技大会(10/15)

【男子】〈棒高跳〉①南 岳仁(2m50)

【女子】

〈100m〉⑧紺谷亜樹(14秒31)

〈100H〉②信田有里彩(17秒50)

〈走幅跳〉④森田智美(4m52)

〈走高跳〉①山本恵未(1m48) ②信田有里彩(1m42)

〈砲丸投〉②下野架菜子(9m77)

〈1年100m〉②西かえで(14秒17)

〈1年走幅跳〉⑤西かえで(4m13)

〈4×100mR〉③紺谷、西、山本、信田(56秒59)

一心杯バレーボール大会(11/3)

③女子バレーボール部

■鶴川中学校

北信越中学校ソフトテニス研修大会

(11/15)

〈女子団体〉①(元 悠香・谷内美咲、山下藍里・道地佑李、山本未来・山瀬佑希、小杉紗代・久山亜衣)

※大会案内や結果は、主催者、学校、スポーツ少年団などからの報告により掲載しています。

スポーツがつながる新しい出会い！

オータム・リーダースクール

11月8日・9日、能登町スポーツ少年団のオータム・リーダースクールが内浦体育館と県立能登少年自然の家で行われ、団員や指導者、保護者など80人が参加しました。この活動は各少年団の小学5・6年生を対象としてリーダーを育成することを目的に毎年行われているもので、ニュースポーツやオリエンテーリングなどで、協調性やリーダーとしての心構えを学びました。



能登消防署 ☎ 62-0492
柳田分署 ☎ 76-0085
内浦分署 ☎ 72-0282

奥能登広域圏消防職員意見発表会
吉野大介消防副士長が最優秀委員



奥能登広域圏消防職員意見発表会が10月29日、奥能登広域圏事務組合消防本部（輪島市）で行われ、能登消防署の吉野大介消防副士長が最優秀賞に輝きました。吉野消防副士長は、12月5日に県消防学校で開催される「石川県消防職員意見発表会」に奥能登広域圏代表として出場します。

高倉分団に新型ポンプ自動車配備



高倉分団車庫前で11月3日、新型ポンプ自動車の入魂式が行われ、持木町長から山本勉団長へ目録が手渡されました。式の後には高倉分団員による放水が披露され、万が一のときに町を守る心を新たにしました。

火災の多くはちょっとした不注意から…
暖房器具の取り扱いに気をつけて！

- ①安全装置の付いたものを使用しましょう！
- ②ストーブの前に燃えやすい物やスプレー缶は置かない！
- ③給油は確実に火を消してから行い、換気はこまめに！
- ④外出時・就寝時には火を消しましょう！
- ⑤暖房器具で洗濯物などを乾かすことはやめましょう！
- ⑥長時間使用しないときはコンセントを抜きましょう！

安心安全まちづくり

年末の交通安全県民運動
12月11日木～20日土



北陸3県統一スローガン

～ゆっくりまろう 雪のふる里 北陸路～

〈運動の重点〉

- ◆高齢者の交通事故防止に努めよう
- ◆飲酒運転を根絶しよう（北陸3県統一重点）
- ◆夜間の交通事故防止と冬道の安全走行に努めよう
- ◆すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用をしよう

★交通死亡事故抑止

- ・過去最少の交通事故死亡者数50以下を目指す「アンダー50作戦」を実施中！
- ・「夜光反射材ピカピカ作戦」を実施中！

年末年始特別警戒取締り！12月15日金～1月5日金

師走に入り、慌ただしさから気が緩みやすい時期となりました。犯罪被害に遭わないよう、いつも以上に注意しましょう！

◆鍵をかける！

- ・外出をするときや就寝時は、家や納屋に鍵をかけましょう！
- ・金融機関やスーパー、コンビニを利用するときには車に鍵をかけましょう！



◆振り込め詐欺に注意！

- ・『今日中に』『今すぐ！』などとATMへ急がせる電話に気をつけましょう。
- ・エキスパックで現金を送金させる詐欺も発生しています。※エキスパックで現金を郵送することは禁止されています。

国民年金
はのなし
年金加入と喪失
Q&A

【Q1】国民年金に加入するのはどのような人？

【答え】 日本国内に住んでいる20歳以上60歳未満の全員が加入となり保険料を納めることが義務付けられています。（会社員・公務員は除く）

【Q2】会社を退職し2カ月後に再就職する予定ですが、加入は必要ですか？

【答え】 再就職までの2カ月間は、第2号被保険者から第1号被保険者ということになり国民年金加入となります。

【Q3】結婚して夫の扶養となった場合の手続きは？

【答え】 勤務している会社や共済組合に第3号被保険者関係届をしてください。

【Q4】夫が退職すると、扶養である配偶者のわたしも届け出が必要ですか？

【答え】 ご主人が60歳前であれば第2号被保険者から第1号被保険者になり加入となります。妻も60歳前であれば第3号被保険者から第1号被保険者となります。

【Q5】海外に留学していると、きや、住んでいるときは加入するのですか？

【答え】 日本に住所があれば国民年金の加入となります。また、住所がない場合は申し出により任意加入となります。

【Q6】国民年金加入期間（25年）を満たしていません。60歳を過ぎても加入できますか？

【答え】 本人の申し出により任意加入することができます。

【Q7】国民年金に加入していましたが、会社に勤めました。届け出は必要でしょうか？

【答え】 第1号被保険者は第2号被保険者となり喪失届が必要です。

また、第3号被保険者は夫の勤務先に連絡が必要になります。

■該当した人は…

会社に入社・退職、また能登町に転入された場合は、14日以内に役場各庁舎の窓口で資格取得や喪失届をしましょう。

■届け出るとき必要なもの（加入届のとき）

- ・退職証明書や離職証明書
- ・年金手帳（基礎年金番号）
- ・健康保険証や加入証明書
- ・年金手帳（基礎年金番号）

種別	内 訳	届出先
国民年金	第1号被保険者 学生・自営業・自由業（保険料を納める人です）	役 場
	第3号被保険者 会社員・公務員などに扶養されている妻または夫	事業所
厚生年金 共済年金	第2号被保険者 会社員・公務員（保険料は給料から）	事業所

問七尾社会保険事務所
☎ 076715316511
町民課年金係 ☎ 7212501
能都サービス室 ☎ 6218500
柳田サービス室 ☎ 7618300

【入札結果】 10月16日～11月15日

入札結果の掲載は、契約金額500万円以上が対象となります。詳しい入札結果（全件）は町ホームページに随時掲載しています。
☎ 監理課 ☎ 62-8504

件 名	場所	担当課	契約額(税込)	落札者
地域住宅交付金事業 城野団地16号棟建設工事	宇出津山分	建設課	46,515,000円	㈲ヒサダ工務店
公共下水道事業(松波処理区) 非常通報設備工事	松波	下水道課	7,654,500円	㈱NTT西日本-北陸ITビジネスセンタ
公共下水道事業(松波処理区) 管渠築造工事 その2	松波	下水道課	27,300,000円	㈱西中建設
瑞穂地区給水区域内無水源地域簡易水道事業 本木配水管布設工事	本木	水道課	16,170,000円	山本鉄工所
町道小浦8号線 道路改良工事	小浦	建設課	5,050,500円	㈲木村建設
県単急傾斜地崩壊対策事業 立壁工事	立壁	建設課	6,930,000円	興信工業(株)
普通河川河ヶ谷川 河川災害復旧工事	河ヶ谷	建設課	9,639,000円	㈲新出建設
普通河川久田川 河川災害復旧工事	久田	建設課	6,142,500円	㈲山本組
町道2級笹川十郎原1号線 道路改良工事	十郎原	建設課	21,210,000円	北能産業(株)
街なみ環境整備事業 道路1号線舗装工事	宇出津	建設課	9,292,500円	丸建道路(株)
街なみ環境整備事業 道路1号線整備工事(1工区)	宇出津	建設課	9,775,500円	藤田建設運送(有)
街なみ環境整備事業 道路1号線整備工事(2工区)	宇出津	建設課	10,447,500円	㈱鼎建設
街なみ環境整備事業 道路1号線照明灯設置工事	宇出津	建設課	7,213,500円	共和電設
農地・排水路災害復旧工事	当目	農林水産課	5,964,000円	寺西建設(株)
柳田地区簡易水道再編推進事業 五十里浄水場敷地造成工事	五十里	水道課	22,008,000円	㈲飯田組

能登警察署

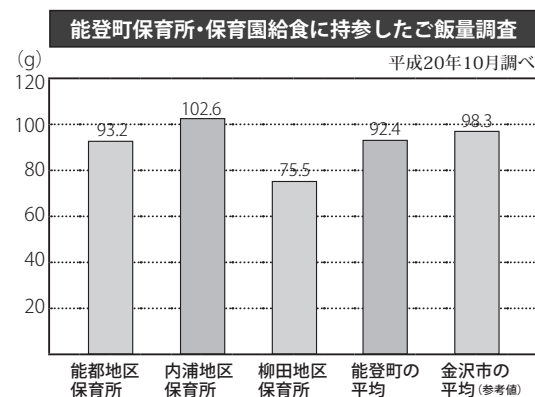
能登防犯協会
能登交通安全協会

☎ 62-1334



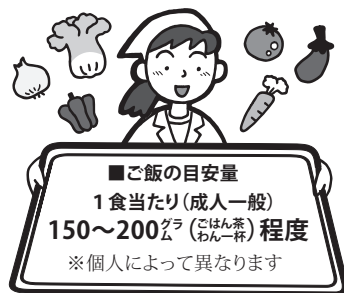
子どもたちは ごはんを食べなくなった?

今年 10 月、能登町内の全保育所・保育園で、3 歳以上児クラスの園児を対象に、給食で食べる「ごはんの量調査」を実施しました。その結果、1 園児当たり平均のご飯を食べる量が約 90 ㍑でした。これは目安量となる 110 ㍑を下回り、ごはんを食べる量が少ない傾向にあることが分かりました。また最も多い園児で 200 ㍑、最も少ない園児で 40 ㍑と個人によってごはんを食べる量に大きな差があることも分かりました。(町内の保育所・園では 3 歳以上児のご飯摂取量を「110 ㍑」とし、必要栄養目標量を満たす給食を提供しています)



食卓にもっとごはんを 登場させよう!

日本人全体で見ても、お米の消費量は年々減少し、肉や乳製品など畜産物の摂取が増えています。また量は少ないものの油脂類が 3 倍あまりに増えています。こうした食生活の変化(洋風化)によって、脂質の取り過ぎが原因とみられる肥満や糖尿病、さらにメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の予備群が若い世代に及ぶ傾向が見られています。ごはんの良さを見直し、家族みんなでご飯を適量食べることを心掛けましょう。

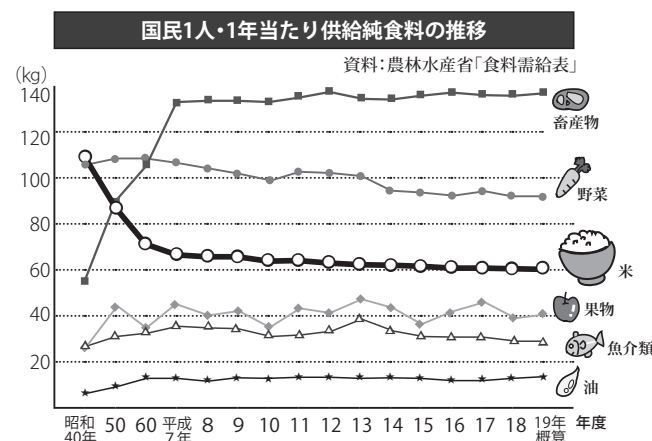


ごはんが主役! 和食中心の食事は元気の素

ごはんが主役となっている和食中心の食事には、子どもから大人までの元気のもとがたくさん詰まっています。

■ごはんが体に良いわけ

- ①エネルギーのもとになる炭水化物と体内で合成できない必須アミノ酸(たんぱく質)をバランス良く含み、食事の要となる食べ物です。
- ②どんなおかずとも相性が良いので多様な食材を使った栄養バランスのよい献立となります。
- ③整腸作用を持つ食物繊維と同様の働きをする難消化性デンプン(レジスタントスターチ)を含み、便秘や大腸ガンの予防に有効です。
- ④粒で食べるため、しっかり噛むことになり、消化・吸収が緩やかになります。このため、余分なエネルギーを体脂肪に変えて蓄える作用があるインスリンの分泌をあまり刺激しません。こうしたことから主食としてごはんは、パンよりも肥満や糖尿病の予防には有効です。



「あなたは大丈夫?メタボリックシンドローム…」

平成 17 年 10 月の国勢調査人口を用いて推計すると、日本人の 40 歳から 74 歳男性の 2 人に 1 人、女性の 5 人に 1 人がメタボリックシンドロームが強く疑われる人、または予備群と考えられています。

該当者数は約 920 万人。予備群者数は約 980 万人で、合わせて約 1,900 万人といわれています。

公立宇出津総合病院だより

☎ 62-1311 http://www.hospitalnet.jp/ 診療情報は、病院ホームページで確認できます。

■診療科からこんにちは! カルテ④ ～泌尿器科 編～



がん 泌尿器科
ぼうこう がん 泌尿器科
ぼうこう がん 泌尿器科

泌尿器科では主に男性生殖器と尿路に関係する腎臓・尿管・膀胱・前立腺・睪丸などの分野の診療を行っています。

泌尿器科で診療する主な病気には、腎臓癌、尿管癌、前立腺癌、膀胱癌、急性腎盂腎炎、前立腺炎、膀胱炎、前立腺肥大症などがあります。

なかでも前立腺癌は、男性がかかる癌の 10%を占めていて、年々患者さんの数も増加しています。前立腺癌の初期には症状が少なく、発見が遅れることもあるので、リスクが高まる 50 歳以上の男性は P S A (前立腺腫瘍マーカー) の検査を受けることが大切です。

排尿に関して、尿失禁(尿もれ)・排尿困難(尿が出にくい)・血尿・おねしょなどの症状がある人は、気軽にご相談ください。

■診療日および担当医師

診療科	診療時間	月	火	水	木	金
泌尿器科	8:30～12:00	谷口 森田(非)	谷口	谷口 鈴木教授※	谷口	谷口

※鈴木教授の診療は第 1・3 水曜日です

■小児科専門外来診療日

〈小児神経〉12 月 16 日(火) 14:00 ～ 16:00

■年末年始の休診について

12 月 27 日(土)から 1 月 4 日(日)まで休診です。
※救急患者は通常どおり受け入れます。

乳児健診・BCG 接種

〈日 時〉12 月 11 日(木) 〈受付時間〉13:10 ～ 13:30
〈場 所〉能都庁舎 1 階集会室
〈対象児〉平成 20 年 7 月 13 日～8 月 31 日生まれ
〈持ち物〉母子健康手帳、健診おたずね票、BCG 予診票、バスタオル、おむつ

献血のお知らせ

〈日 時〉12 月 17 日(木) 9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 15:00
〈場 所〉能都庁舎 〈対 象〉18 歳～69 歳までの人

1 歳 6 カ月児健診



〈日 時〉12 月 4 日(木)
〈受付時間〉13:00 ～ 13:20
〈場 所〉能都庁舎 1 階集会室
〈対象児〉平成 19 年 4 月 16 日～5 月 20 日生まれ
〈持ち物〉母子健康手帳、健診おたずね票

能登北部 医師会より

「年末年始、子どもたちの安心のために…」 小児救急医療体制当番医

能登地区の小児科医師が連携し、年末年始に小さなお子さんが安心して過ごせるように小児救急医療を下記の日程で行います。なお、診療を受けるときは必ず事前に連絡し、担当医の変更などがないか確認をお願いします。

■救急診療時間：9:00 ～ 12:00

	27日	28日	29日	30日	31日	1月1日	2日	3日
公立宇出津総合病院 ☎ 62-1311	—	—	—	—	救急	救急	—	—
珠洲市総合病院 ☎ 82-1181	—	—	救急	—	—	—	救急	—
市立輪島病院 ☎ (0768) 22-2222	—	救急	—	—	救急	—	救急	—
まるおかクリニック ☎ (0768) 52-8228	午前診療	—	平日診療	救急	—	—	—	救急

※宇出津病院は 31 日・1 日以外の日についても、小児救急の受け入れを行います。

編集後記

「公立宇出津総合病院勤務を命ずる」。平成11年7月1日に受け取った一枚の辞令から、今回の地域医療特集は始まっていたのかもしれない。その後2年9カ月勤務した宇出津病院には、たくさんの人との出会いがあり、多くのことを学ばせてもらった。広報担当になってからは、いずれ「宇出津病院」の特集を組みたいと思うようになっていた。かけがえのない時間を共有した宇出津病院のために、何かしたいと考えていた。

そして今年、12月号の特集テーマを「地域医療」に決める。国の政策、県の計画、大学病院や開業医、そして命が絡む重くて難しいテーマ。厳しい現実を伝えながらも、みんなが読んで良かったと思うような特集を目指し、企画・展開は何度も何度も練り直した。

今、改めて編集作業を振り返ると、取材に協力してくれた多くの人の思いが、自分の編集を通して一つになっていくような感覚だった。その思いを感じてほしい。そして考えてほしい。「もしも宇出津病院がなかったら」と。

病院で背丈に合わない使いにくそうな杖をついて歩くおばあちゃんがあった。足が届かない自転車に乗ったおじいちゃんが車の前を横切った。「誰も何も言わんがかな」声をかけてもいいのか躊躇していた。年老いた自分を想像して、何でも話し合える人がそばにいてくれることの幸せを感じていた。

※個人情報保護のため、本人またはご家族の希望があったものを掲載しています

清佐美咲 卓史・亜沙美
上野花奈 陽司・七美
芦田詩郎 正志・実基
垣内律希 健一・亜由子
櫻井のどか 秀斗・いつか
埴拓也 浩司・規美代
篠原生太 博・愛子
橋本恋依 洋一・和子

下窪成佳 曾又川
手口静子 穴水町 鵜川
藤原義久 波並 波並
小浦泰子 崎山 波並
大畑亮 宇出津 東京都
戸田聡子 千葉県
吉野裕幸 矢波 矢波
笠井裕子 金沢市 矢波
西尾謹一 桐畑 桐畑
芦田真由美 中斉 桐畑
松島徳造 上長尾 上長尾
畠中静香 宮地 上長尾

里谷金松 岩崎長一 府中一二 脊戸貞子 橋谷歳夫 坂下五月 河村文子 矢後彌一 垣内茂彦 簗下繁雄 千徳統光 國重富士子 東ヨシイ 須見きよ 吉延甚吉 澤木つぎ

浅山せき 徳田幸子 久山幸一 國谷泉 大濱正博 水本政雄 田尻博 61歳 89歳 40歳 68歳 91歳 73歳 100歳

年末年始のごみ収集・受け入れ						環境対策課 ☎ 62-8507		
		27日(土)	28日(日)	29日(月)	30日(火)	31日(水)	1月1日(木)～4日(日)	5日(月)
ごみ 収集	能都地区	×	全て 休み	収集カレンダーの とおり		収集カレンダーの とおり (午前中で終了)	全て休み	収集カレ ンダーの とおり
	内浦地区	×						
	柳田地区	×						
	奥能登クリーンセンター	●		●	▲	●		
内浦クリーンセンター	×	●		●	▲	●		
能都埋立処分場	●	●		●	▲	●		
		×	×	▲	30日から1月4日まで休み			収集
し尿収集		年内の汲み取り・清掃を希望の人は12月15日(月)までに のとクリーンサービス(☎62-4400)に申し込みください。						

●受け入れ (8:30～16:30) ▲午前中のみ営業 (8:30～11:30) ×：休業
※能登三郷斎場は1月1日のみ休業

きど 11/14
せま 10/15
このうぶごえ

高砂や 氏名 本籍 住所

おくやみ 氏名 年齢 住所

寄付御礼

人口動態 平成20年11月1日現在

	人口(人)	21,942	先月比	－18
男	10,335	－3		
女	11,607	－15		
世帯数(戸)	8,106	－11		
外国人登録者(人)	322			
男	164			
女	158			



能登町有線テレビを見学を訪れ、スタジオで実際にアナウンサー体験をする鶴川小学校5年生の皆さん

特集番組！★きらきらチャンネル (自主制作番組) ■とくトクたいむ (提供番組)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	★第4回能登町民文化祭 その① 12/3(水)まで			★第4回能登町民文化祭 その② 12/6(土)まで		
7	8	9	10	11	12	13
	★第4回能登町民文化祭 その③ 12/10(水)まで			★第4回能登町民文化祭 その④ 12/13(土)まで		
14	15	16	17	18	19	20
	■野村の自由学校「熟年夫婦のドイツ手作り紀行」12/18(木)まで ドイツに魅了されて定年後8回もドイツを訪問している井関夫妻に、現地での出会いや体験を聞いて、自由気ままな旅の良さを教えてもらいます。			★能登町議会12月定例会		
21	22	23	24	25	26	27
	★能登町議会12月定例会 12/21(日)・28(日)を除く12/30まで 12月議会定例会の模様を、数回に分けてお送りします。					
28	29	30	31			
	★能登町議会12月定例会		★大晦日だよ! 10ch			

※日曜リクエストは、「きらきらチャンネル」で放送した番組の中から再放送しています。番組のリクエストは広報情報推進課 ☎ 76-8301 まで。放送時間は、毎週日曜日の① 8:00 ② 10:00 ③ 12:00 ④ 16:00 ⑤ 18:30 ⑥ 20:00 ⑦ 21:30 の7回です。

10ch 今月の見どころ

特集番組 放送時間

月～土曜日

- ① 10:00 (初回)
- ② 16:00
- ③ 20:00
- ④ 22:00

★「第4回能登町民文化祭」1日(月)～13日(土)

11月2日に行われた町民文化祭芸能部門の模様を4回に分けて放送します！

◆その① 12月1(月)～3日(水)

- ・大正琴(琴城流 柳田教室、宇出津教室)・舞踊(珠山会、珠山流 陽恵津会)
- ・フラダンス(カブラ・オ・ハワイ宇出津教室)・民謡(藤白会)

◆その② 12月4日(木)～6日(土)

- ・舞踊(牧園流)・民謡(美すず民謡会【宇出津・小木・真脇】)
- ・詩吟(宇出津吟詠会)・舞踊(治友会、治寿々会)

◆その③ 12月8日(月)～10日(水)

- ・津軽三味線(藤声会宇出津教室)・コーラス(鶴川「エトワール」)
- ・大正琴(琴名流 柳田百合根の会、のとときりしま会)・舞踊(扇寿会、勘実徳会)・民謡・詩吟(北陸 紫虹会)

◆その④ 12月11日(木)～13日(土)

- ・民謡(美すず民謡会松波支部)・コーラス(秋吉ママレモンズ)・謡曲(内浦謡曲会)・民謡(杉山民謡会)
- ・舞踊(珠山会、珠山流 陽恵津会)



★その他の番組：6:00～ ラジオ体操、7:30～ まちむら NOW (金土日は休)、8:00～ 農政番組 (土日は休)、9:00～ のびのびかんたんみんな体操、9:30～ 里からの便り (金土日は休)、12:00～ J A 番組 (土日は休)、15:00～ のびのびかんたんみんな体操
★「のとぼっとらいん」はインターネットでも同時配信しています。能登町ホームページからご覧ください。
★番組と番組の間の時間には文字放送「テレビかわら版」でさまざまな情報をお伝えしています。